

(様式第10)

口大総医第215 号

令和6年10月4 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人山口大学

学長 谷澤幸生

山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和 5 年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1
氏名	国立大学法人 山口大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

山口大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1
電話(0836) 22 - 2111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

○	1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
	2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科				有			
内科と組み合わせた診療科名等							
○	1呼吸器内科	○	2消化器内科	○	3循環器内科		4腎臓内科
	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科	○	10アレルギー・疾患内科またはアレルギー科			○	11リウマチ科
診療実績							
神経内科については、脳神経内科にて提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	心療内科	2	形成外科	3	臨床検査科	4	病理診断科	5	リハビリテーション科
6	脳神経内科	7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
41				713	754

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	224	163.1	387.1
歯科医師	5	10.4	15.4
薬剤師	55	0	55
保健師	0	0	0
助産師	33	0	33
看護師	777	21.5	798.5
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	3	0	3
管理栄養士	16	0	16

職種	員数
看護補助者	35
理学療法士	20
作業療法士	9
視能訓練士	7
義肢装具士	0
臨床工学士	19
栄養士	17
歯科技工士	1
診療放射線技師	45

職種		員数
診療エックス線技師		0
臨床検査	臨床検査技師	69
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師		0
医療社会事業従事者		7
その他の技術員		28
事務職員		255
その他の職員		53

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	37	眼科専門医	7
外科専門医	33	耳鼻咽喉科専門医	9
精神科専門医	8	放射線科専門医	5
小児科専門医	17	脳神経外科専門医	9
皮膚科専門医	5	整形外科専門医	13
泌尿器科専門医	7	麻酔科専門医	19
産婦人科専門医	14	救急科専門医	9
		合計	192

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (松永 和人) 任命年月日 令和 5 年 4 月 1 日

医療の質・安全管理委員会委員(平成28年4月1日～現在)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	609.1 人	14.5 人	623.6 人
1日当たり平均外来患者数	1191.2 人	50.8 人	1241.9 人
1日当たり平均調剤数	2276		剤
必要医師数	136		人
必要歯科医師数	5		人
必要薬剤師数	21		人
必要(准)看護師数	354		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	419 m ²	鉄筋鉄骨コンクリート	病床数	16 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	301 m ²	病床数	23 床	
	[移動式の場合]	台数	23 台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	30.57 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	510.1 m ²	鉄筋鉄骨コンクリート	(主な設備)	生化学検査、血液学的検査、免疫学的検査、一般検査、遺伝子検査を含む		
細菌検査室	100.6 m ²	鉄筋鉄骨コンクリート	(主な設備)	安全キャビネット、オートクレーブ、細菌同定感受性装置		
病理検査室	373 m ²	鉄筋鉄骨コンクリート	(主な設備)	卓上フード型局所排気装置、自動包埋装置、自動染色装置		
病理解剖室	477 m ²	鉄筋鉄骨コンクリート	(主な設備)	剖検台、写真撮影装置、煮沸滅菌器		
研究室	25328 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)			
講義室	2439 m ²	鉄筋コンクリート	室数	12 室	収容定員	1642 人
図書室	2177 m ²	鉄筋コンクリート	室数	48 室	蔵書数	163955 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	96 . 2 %	逆紹介率	86.6 %
算出 根拠	A: 紹介患者の数	12337	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	12286	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1314	人
	D: 初診の患者の数	14193	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
矢賀 健	山陽小野田市民病院	○	医療に係る安全管理に関する専門的知識を有するため	無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
大田 明登	大田・讃岐法律事務所		法律に関する識見を有するため	無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
玉田 英生	UBE株式会社		医療を受ける者の代表者	無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
山口大学ホームページに掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	26人
タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養	74人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類合計数	2
取り扱い患者数の合計(人)	100人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法(脾臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。))	1人
陽子線治療(根治切除が可能な肝細胞がん(初発のものであり、単独で発生したものであって、その長径が三センチメートルを超え、かつ、十二センチメートル未満のものに限る。))	0人
術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブ-パクリタキセル静脈内投与の併用療法(切除が可能な脾臓がん(七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。))	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類の合計数	3
取り扱い患者数の合計(人)	1人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
該当なし			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の合計数	0
扱い患者数の合計(人)	0

4 指定難病についての診療

患者数	患者数	患者数	患者数	患者数	患者数
疾患名	患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
1 球脊髄性筋萎縮症	6	170	オクシビタル・ホーン症候群	0	
2 筋萎縮性側索硬化症	31	171	ウィルソン病	1	
3 脊髄性筋萎縮症	4	172	低ホスファターゼ症	0	
4 原発性側索硬化症	0	173	VATER症候群	0	
5 進行性核上性麻痺	7	174	那須・ハコラ病	0	
6 パーキンソン病	123	175	ウィーバー症候群	0	
7 大脳皮質基底核変性症	2	176	コフィン・ローリー症候群	0	
8 ハンチントン病	1	177	ジュベール症候群関連疾患 旧病名(有馬症候群)	0	
9 神経有棘赤血球症	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0	
10 シャルコー・マリー・トゥース病	7	179	ウィリアムズ症候群	0	
11 重症筋無力症	57	180	ATR-X症候群	0	
12 先天性筋無力症候群	0	181	クルーゾン症候群	0	
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	105	182	アペール症候群	0	
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	45	183	ファイファー症候群	0	
15 封入体筋炎	2	184	アントレー・ピクスラー症候群	0	
16 クロウ・深瀬症候群	1	185	コフィン・シリス症候群	0	
17 多系統萎縮症	8	186	ロスムンド・トムソン症候群	0	
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	22	187	歌舞伎症候群	0	
19 ライソゾーム病	2	188	多脾症候群	1	
20 副腎白質ジストロフィー	0	189	無脾症候群	1	
21 ミトコンドリア病	4	190	鰓耳腎症候群	0	
22 もやもや病	34	191	ウェルナー症候群	0	
23 プリオン病	0	192	コケイン症候群	0	
24 亜急性硬化性全脳炎	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0	
25 進行性多巣性白質脳症	0	194	ソトス症候群	0	
26 HTLV-1関連脊髄症	3	195	ヌーナン症候群	0	
27 特発性基底核石灰化症	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0	
28 全身性アミロイドーシス	52	197	1p36欠失症候群	0	
29 ウルリッヒ病	3	198	4p欠失症候群	0	
30 遠位型ミオパチー	2	199	5p欠失症候群	0	
31 ベスレムミオパチー	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	1	
32 自己貪食空胞性ミオパチー	0	201	アンジェルマン症候群	0	
33 シュワルツ・ヤンベル症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0	
34 神経線維腫症	17	203	22q11.2欠失症候群	0	
35 天疱瘡	13	204	エマヌエル症候群	0	
36 表皮水疱症	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0	
37 膿疱性乾癬(汎発型)	9	206	脆弱X症候群	0	
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	3	207	総動脈幹遺残症	0	
39 中毒性表皮壊死症	1	208	修正大血管転位症	0	
40 高安動脈炎	12	209	完全大血管転位症	0	
41 巨細胞性動脈炎	2	210	単心室症	0	
42 結節性多発動脈炎	3	211	左心低形成症候群	0	
43 顕微鏡的多発血管炎	26	212	三尖弁閉鎖症	1	
44 多発血管炎性肉芽腫症	23	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	24	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	
46 悪性関節リウマチ	7	215	ファロー四徴症	0	
47 バージャー病	4	216	両大血管右室起始症	1	
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	1	217	エプスタイン病	0	
49 全身性エリテマトーデス	118	218	アルポート症候群	0	
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	93	219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	
51 全身性強皮症	65	220	急速進行性糸球体腎炎	4	
52 混合性結合組織病	8	221	抗糸球体基底膜腎炎	1	
53 シェーグレン症候群	36	222	一次性ネフローゼ症候群	24	
54 成人スチル病	3	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	
55 再発性多発軟骨炎	0	224	紫斑病性腎炎	3	
56 ベーチェット病	36	225	先天性腎性尿崩症	0	
57 特発性拡張型心筋症	24	226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	
58 肥大型心筋症	6	227	オスラー病	3	
59 拘束型心筋症	1	228	閉塞性細気管支炎	0	
60 再生不良性貧血	11	229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	
61 自己免疫性溶血性貧血	1	230	肺胞低換気症候群	0	
62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	231	$\alpha 1$ -アンチトリプシン欠乏症	0	
63 特発性血小板減少性紫斑病	14	232	カーニー複合	0	
64 血栓性血小板減少性紫斑病	3	233	ウォルフラム症候群	0	

4 指定難病についての診療

65	原発性免疫不全症候群	8	234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0
66	IgA 腎症	23	235	副甲状腺機能低下症	0
67	多発性嚢胞腎	8	236	偽性副甲状腺機能低下症	0
68	黄色靱帯骨化症	37	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0
69	後縦靱帯骨化症	102	238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0
70	広範脊柱管狭窄症	12	239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0
71	特発性大腿骨頭壊死症	46	240	フェニルケトン尿症	0
72	下垂体性ADH分泌異常症	6	241	高チロシン血症1型	0
73	下垂体性TSH分泌亢進症	0	242	高チロシン血症2型	0
74	下垂体性PRL分泌亢進症	6	243	高チロシン血症3型	0
75	クッシング病	2	244	メーブルシロップ尿症	0
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0	245	プロピオン酸血症	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	11	246	メチルマロン酸血症	0
78	下垂体前葉機能低下症	58	247	イソ吉草酸血症	0
79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0	248	グルコーストランスポーター1欠損症	0
80	甲状腺ホルモン不応症	0	249	グルタル酸血症1型	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	5	250	グルタル酸血症2型	1
82	先天性副腎低形成症	0	251	尿素サイクル異常症	0
83	アジソン病	1	252	リジン尿性蛋白不耐症	0
84	サルコイドーシス	61	253	先天性葉酸吸収不全	0
85	特発性間質性肺炎	53	254	ポルフィリン症	0
86	肺動脈性肺高血圧症	11	255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0
87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0	256	筋型糖原病	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	17	257	肝型糖原病	0
89	リンパ脈管筋腫症	6	258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0
90	網膜色素変性症	11	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
91	バッド・キアリ症候群	1	260	シトステロール血症	0
92	特発性門脈圧亢進症	0	261	タンジール病	0
93	原発性胆汁性胆管炎 旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	42	262	原発性高カイロミクロン血症	0
94	原発性硬化性胆管炎	2	263	脳腫黄色腫症	0
95	自己免疫性肝炎	15	264	無βリポタンパク血症	0
96	クローン病	140	265	脂肪萎縮症	0
97	潰瘍性大腸炎	182	266	家族性地中海熱	1
98	好酸球性消化管疾患	1	267	高IgD症候群	0
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0	268	中條・西村症候群	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0	270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	0	271	強直性脊椎炎	3
103	CFC症候群	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
104	コステロ症候群	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
105	チャージ症候群	0	274	骨形成不全症	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
107	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	3	276	軟骨無形成症	0
108	TNF受容体関連周期性症候群	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	2	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
110	ブラウ症候群	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
111	先天性ミオパチー	5	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	281	クリッペル・トレノニー・ウェーバー症候群	0
113	筋ジストロフィー	15	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	283	後天性赤芽球癆	3
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
116	アトピー性脊髄炎	0	285	ファンconi貧血	0
117	脊髄空洞症	3	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
118	脊髄髄膜瘤	0	287	エプスタイン症候群	0
119	アイザックス症候群	2	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1
120	遺伝性ジストニア	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	1
121	神経フェリチン症	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	292	総排泄腔外反症	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	293	総排泄腔遺残	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
126	ペリー症候群	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
127	前頭側頭葉変性症	0	296	胆道閉鎖症	1
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	297	アラジール症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	298	遺伝性膀胱炎	0
130	先天性無痛無汗症	0	299	嚢胞性線維症	0
131	アレキサンダー病	0	300	IgG4関連疾患	11
132	先天性核上性球麻痺	0	301	黄斑ジストロフィー	1
133	メビウス症候群	0	302	レーベル遺伝性視神経症	1
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	303	アッシャー症候群	1
135	アイカルディ症候群	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
136	片側巨脳症	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
137	限局性皮質異形成	0	306	好酸球性副鼻腔炎	121
138	神経細胞移動異常症	0	307	カナバン病	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	308	進行性白質脳症	0
140	ドラベ症候群	0	309	進行性ミオクロームステんかん	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	310	先天異常症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
144	レノックス・ガストー症候群	1	313	先天性肺静脈狭窄症	0
145	ウエスト症候群	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
146	大田原症候群	0	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	316	カルニチン回路異常症	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	317	三頭酵素欠損症	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	318	シトリン欠損症	0
150	環状20番染色体症候群	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
151	ラスムッセン脳炎	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
152	PCDH19関連症候群	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
156	レット症候群	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	326	大理石骨病	0
158	結節性硬化症	2	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
159	色素性乾皮症	1	328	前眼部形成異常	0
160	先天性魚鱗癬	0	329	無虹彩症	1
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症 旧病名(先天性気管狭窄症)	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	10	331	特発性多中心性キャッスルマン病	4
163	特発性後天性全身性無汗症	8	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
164	眼皮膚白皮症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
165	肥厚性皮膚骨膜症	0	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	1	335	ネフロン癆	0
167	マルファン症候群	5	336	家族性低 β リポタンパク血症1 (ホモ接合体)	0
168	エーラス・ダンロス症候群	0	337	ホモシスチン尿症	0
169	メンケス病	0	338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	122
合計患者数(人)	2210

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・医療DX推進体制整備加算	・呼吸ケアチーム加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・術後疼痛管理チーム加算
・歯科外来診療医療安全対策加算2	・後発医薬品使用体制加算2
・歯科外来診療感染対策加算3	・病棟薬剤業務実施加算1
・特定機能病院入院基本料	・病棟薬剤業務実施加算2
・救急医療管理加算	・データ提出加算
・超急性期脳卒中加算	・入退院支援加算
・診療録管理体制加算3	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・医師事務作業補助体制加算1	・精神疾患診療体制加算
・急性期看護補助体制加算	・精神科急性期医師配置加算
・看護職員夜間配置加算	・地域医療体制確保加算
・看護補助加算	・救命救急入院料4
・療養環境加算	・特定集中治療室管理料2
・重症者等療養環境特別加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・無菌治療室管理加算1	・新生児特定集中治療室管理料1
・無菌治療室管理加算2	・新生児治療回復室入院医療管理料
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・小児入院医療管理料2
・緩和ケア診療加算	
・精神科身体合併症管理加算	
・精神科リエゾンチーム加算	
・摂食障害入院医療管理加算	
・医療安全対策加算1	
・感染対策向上加算1	
・患者サポート体制充実加算	
・ハイリスク妊娠管理加算	
・ハイリスク分娩管理加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・医療機器安全管理料1
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・医療機器安全管理料2
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・医療機器安全管理料(歯科)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・歯科治療時医療管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・がん患者指導管理料イ	・持続血糖測定器加算(間歇注入インスリンポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・がん患者指導管理料ロ	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・がん患者指導管理料ニ	・遺伝学的検査の注1に規定する施設基準
・外来緩和ケア管理料	・骨髓微小残存病変量測定
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・BRCA1/2遺伝子検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・がんゲノムプロファイリング検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・角膜ジストロフィー遺伝子検査
・小児運動器疾患指導管理料	・先天性代謝異常症検査
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・婦人科特定疾患治療管理料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・腎代替療法指導管理料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)
・一般不妊治療管理料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)
・生殖補助医療管理料1	・検体検査管理加算(IV)
・下肢創傷処置管理料	・国際標準検査管理加算
・外来放射線照射診療料	・遺伝カウンセリング加算
・外来腫瘍化学療法診療料1	・遺伝性腫瘍カウンセリング加算
・連携充実加算	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん治療連携計画策定料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・胎児心エコー法
・肝炎インターフェロン治療計画料	・ヘッドアップティルト試験
・薬剤管理指導料	・人工臓器検査、人工臓器療法

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・長期継続頭蓋内脳波検査	・頭部MRI撮影加算
・単線維筋電図	・全身MRI撮影加算
・光トポグラフィー	・肝エラストグラフィ加算
・脳波検査判断料1	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・神経学的検査	・外来化学療法加算1
・補聴器適合検査	・無菌製剤処理料
・全視野精密網膜電図	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・ロービジョン検査判断料	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・コンタクトレンズ検査料1	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・小児食物アレルギー負荷検査	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・内服・点滴誘発試験	・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・がん患者リハビリテーション料
・CT透視下気管支鏡検査加算	・リンパ浮腫複合的治療料
・経気管支凍結生検法	・歯科口腔リハビリテーション料2
・有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査	・経頭蓋磁気刺激療法
・画像診断管理加算4	・通院・在宅精神療法の注11に規定する早期診療体制充実加算
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	・精神科作業療法
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・乳房用ポジトロン断層撮影	・医療保護入院等診療料
・CT撮影及びMRI撮影	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1
・冠動脈CT撮影加算	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1
・外傷全身CT加算	・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
・心臓MRI撮影加算	・硬膜外自家血注入
・乳房MRI撮影加算	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・小児鎮静下MRI撮影加算	・エタノールの局所注入(副甲状腺)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・人工腎臓	・羊膜移植術
・導入期加算3及び腎代替療法実績加算	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・ストーマ合併症加算	・毛様体光凝固術(眼内内視鏡を用いるものに限る。)
・磁気による膀胱等刺激法	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	・網膜再建術
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・歯科技工加算1及び2	・人工中耳植込術
・皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・自家脂肪注入	・耳管用補綴材挿入術
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術(至て拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うものに限る。)
・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・椎間板内酵素注入療法	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科)
・緊急穿頭血腫除去術	・乳癌センチネルリンパ節生検加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・乳癌センチネルリンパ節生検加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・脳血栓回収療法連携加算	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの)
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・角結膜悪性腫瘍切除術	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・角膜移植術(内皮移植加算)	・気管支バルブ留置術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)等	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・胸腔鏡下弁形成術	・腹腔鏡下肝切除術
・胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)	・生体部分肝移植術
・経皮的僧帽弁クリップ術	・腹腔鏡下腓腫瘍摘出術
・不整脈手術左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテルの手術によるもの)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下腓中央切除術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・腹腔鏡下副腎摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髓質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
・補助人工心臓	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的下肢動脈形成術	・同種死体腎移植術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・生体腎移植術
・骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・尿道狭窄グラフト再建術	・歯周組織再生誘導手術
・人工尿道括約筋植込・置換術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・精巣温存手術	・麻酔管理料(Ⅰ)
・精巣内精子採取術	・麻酔管理料(Ⅱ)
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下仙骨脛固定術	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下仙骨脛固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・一回線量増加加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	・定位放射線治療
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・胎児輸血術及び臍帯穿刺	・画像誘導密封小線源治療加算
・体外式膜型人工肺管理料	・保険医療機関間の連携による病理診断
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1	・デジタル病理画像による病理診断
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1	・病理診断管理加算1
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・口腔病理診断管理加算1
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・輸血管理料Ⅰ	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・輸血適正使用加算	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
・コーディネート体制充実加算	・看護職員処遇改善評価料63

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

[illegible]

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	CPC 6回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	21
	剖検率(%)	13.6

)1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こ
(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
Bio-Digital Transformation (バイオDX)産学共創拠点にかかる山口大学による研究開発	宮本 達雄	分子細胞生理学講座	6,500,000	補 (委)	国立研究開発法人 科学技術振興機構
防災活動等に着目した孤立孤独のハイリスク者の社会的選好に関する探索研究	牛尾 裕子	地域・老年看護学講座	390,000	補 (委)	国立研究開発法人 科学技術振興機構
ゲノム情報と創薬をつなぐ局在評価法の構築	富永 直臣	病態検査学講座	6,500,000	補 (委)	国立研究開発法人 科学技術振興機構
切除可能胆道癌に対する術前補助化学療法としてのゲムシタビン+シスプラチン+S-1 (GCS)療法の第Ⅲ相試験	井岡 達也	腫瘍センター	3,250,000	補 (委)	国立研究開発法人 国立がん研究センター
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究 (J-DREAMS)	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	300,000	補 (委)	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
PACI-ONコホート研究	長谷川 俊史	小児科学講座	390,000	補 (委)	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
血液由来試料エクソソームによる精神疾患の疾患バイオマーカー、治療効果予測の検討	中川 伸	高次脳機能病態学講座	1,300,000	補 (委)	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
筋強直性ジストロフィーの病態解明と治療開発	中森 雅之	臨床神経学講座	400,000	補 (委)	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
DM1マウスの薬効・薬理評価	中森 雅之	臨床神経学講座	1,560,000	補 (委)	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
統合失調症の診断補助医療機器プログラムの開発研究	中川 伸	高次脳機能病態学講座	2,600,000	補 (委)	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
統合失調症患者を対象としたルフィシドンと認知機能リハビリテーション (NEAR) の併用による認知機能への影響を検討する研究	中川 伸	高次脳機能病態学講座	929,500	補 (委)	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
多発性嚢胞腎に対する新規治療剤の探索	宮本 達雄	分子細胞生理学講座	5,973,000	補 (委)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
体外受精卵(胚)の着床率向上を目的とした胚のタイムラプス画像機械学習に基づく良好胚および正常核型胚スクリーニング法の開発	杉野 法広	産科婦人科学講座	10,400,000	補 (委)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
MRIによる子宮筋腫のサブタイプおよび組織構成の非侵襲的な予測法に関する研究開発	杉野 法広	産科婦人科学講座	13,000,000	補 (委)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
RNA標的創薬技術開発/新規RNA標的医薬品の研究開発 (RNA結合PPR蛋白を用いた難治性神経筋疾患における異常RNA標的治療)	中森 雅之	臨床神経学講座	35,880,000	補 (委)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
慢性腎臓病に対するリアノジン受容体安定化薬併用療法の開発	内海 仁志	器官病態内科学講座	9,100,000	補 (委)	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

自然免疫異常を介した川崎病冠動脈病変発症機序の解明および新規分子標的治療の確立	岡田 清吾	総合周産期母子医療センター	6,500,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
認知症、脳卒中の病態解明にむけた遺伝性脳小血管病の血液脳関門破綻機序解明	西原 秀昭	臨床神経学講座	34,983,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
難治性固形がんに対する次世代CAR-T細胞療法の研究開発	玉田 耕治	免疫学講座	95,095,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
血液脳関門という新たな診断、治療ターゲットの確立	西原 秀昭	臨床神経学講座	7,800,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
高中性脂肪血症を合併した冠動脈疾患を対象としたペマフィブラートの冠動脈プラークの退縮に及ぼす影響を検討する無作為化非盲検群間比較試験 (PEMA-CORE study)	岡村 誉之	器官病態内科学講座	1,039,500	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
循環器疾患診療実態調査 (JROAD)のデータベースによる心臓サルコイドーシスの診療実態調査と二次調査に基づく診断・治療プロトコルの策定に関する研究 (MYSTICS)	小林 茂樹	寄附講座 (高齢者心不全治療学講座)	9,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
神経疾患への血液脳関門破綻の影響 (スイスとの国際共同研究プログラム (JRP))	西原 秀昭	臨床神経学講座	5,538,500	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
成人T細胞白血病/リンパ腫の治療を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立: 薬事承認を目的とした第II相医師主導治験	下川 元継	基礎検査学講座	520,000	補 委	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	下村 裕	皮膚科学講座	1,243,000	補 委	山口県
慢性胎盤剥離、慢性胎盤剥離羊水過少症 (CAOS) の周産期予後の解明	杉野 法広	産科婦人科学講座	2,600,000	補 委	浜田市
切除不能肝細胞癌におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法、外科的切除を用いた集学的治療の安全性、有効性を検討する多施設共同第II相臨床研究 (RACB)	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	110,000	補 委	公益財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター
切除不能進行がんおよび転移・再発固形がん患者に対する Electronic Patient-Reported Outcome (ePRO) モニタリングの有用性を検証する多施設共同非盲検ランダム化比較試験	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	110,000	補 委	公益財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター
鯨油を用いた加齢黄斑変性に対する予防サプリメントの開発 (研究)	柳井 亮二	眼科	1,000,000	補 委	公益財団法人 中国地域創造研究センター
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究 J-DOIT3 (追跡)	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	200,000	補 委	公益財団法人 日本糖尿病財団
うつ病患者における疾患バイオマーカーの確立	中川 伸	高次脳機能病態学講座	375,000	補 委	美祢市
オルガノイド法を用いたミニ子宮内膜の作成	杉野 法広	産科婦人科学講座	750,000	補 委	美祢市

口蓋裂術後患者のナゾランス値の検討	三島 克章	歯科口腔外科学講座	375,000	補 委	美祢市
山口大学先進科学・イノベーション研究センター「研究拠点」再生・細胞治療センター「脳梗塞再生療法開発」	西田 周泰	リハビリテーション部	5,000,000	補 委	宇部市
膵癌に対する鉄キレート剤を用いた抗癌剤感受性向上と浸潤・転移抑制機構の基礎研究	篠田 崇平	第一内科	1,040,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
中枢神経バリアー構成細胞の特性を利用した難治性中枢神経疾患の新規治療法開発	神田 隆	臨床神経学講座	6,250,668	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
周産期のメンタルヘルス調査とパートナーへの介入方法に関する研究	樋口 尚子	保健管理センター	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺癌の定位放射線治療における個別化ゲノム医療の探求	田中 秀和	放射線腫瘍学講座	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
線維性腸管狭窄に対するメカニズムの解明と臨床応用への検討	橋本 真一	光学医療診療部	910,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
四肢虚血リモートプレコンディショニングと水素ガス投与併用による神経保護効果の検討	山下 理	麻酔科蘇生科	650,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
炎症・死細胞因子と細胞外マトリクス連関を介した炎症性破骨細胞形成メカニズム	朝霧 成挙	薬理学講座	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
妊娠先行型結婚をした夫婦へのケアプログラムの構築	河本 恵理	母子看護学講座	390,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高齢者のせん妄予防を目的とした快刺激映像の臨床応用	堤 雅恵	地域・老年看護学講座	910,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
1歳6か月児健診カンファレンスシートを活用した地域の健康課題発見モデルの開発	斎藤 美矢子	地域・老年看護学講座	1,538,543	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ハイリスク症例に対する新しい脊椎脊髄手術モニタリングの開発	船場 真裕	整形外科学講座	260,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
立体臓器形成・再生の力学恒常性を司るフィードバック分子機構の解明	清木 誠	システムズ再生・病態医化学講座	4,680,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
クロマチン制御による熱ショック応答の調節機構の解明	中井 彰	医化学講座	5,070,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
染色体数可塑性を利用したPatau症候群の絨毛病発症機構の解明	宮本 達雄	分子細胞生理学講座	4,550,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
がん発症・進展過程におけるYAPの活性化の機械的制御機構の解明	田尾 嘉誉	システムズ再生・病態医化学講座	4,680,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
交感神経活性化に着目した進行性脂肪肝疾患における心血管イベント発症機序の解明	劉 金耀	その他(TA・RA等以外)医学系研究科	4,160,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
多機能センシング技術により計測される頭蓋内皮質活動を用いた病態検出システムの開発	鈴木 倫保	脳神経外科学講座	4,940,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

固形がんに対する新規CAR-T細胞技術のメカニズム解析研究	玉田 耕治	免疫学講座	10,140,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新たな実験モデル構築による嫌気性廃水処理システム活性化を担う嫌気性原虫の機能解明	塩浜 康雄	器官解剖学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規に同定した細胞接着斑分子paxillinが血管攣縮を制御するメカニズムの解明	張 影	分子細胞生理学講座	1,362,868	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
PDZRN3による核内のパラスペースを介した新たな心筋分化制御機構の解明	本田 健	その他(非常勤講師・学校医・学校薬剤師等)	994,145	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
イメージサイトメトリーによるインターフェロン γ の抗腫瘍効果の解析	近藤 智子	分子病理学講座	910,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性神経疾患の克服を目指した神経系血管バリアーの人為的制御手法の確立	池田 栄二	病理形態学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
次世代CAR-T細胞療法開発に応用可能なエピトープスプレッシング誘導機構の解析	安達 圭志	免疫学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗リン脂質抗体症候群の病態パターンと発症リスクを層別化できる検査診断法の確立	野島 順三	基礎検査学講座	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己免疫性神経疾患での血液脳関門/血液神経関門破綻の全容解明と新規治療法開発	清水 文崇	脳神経内科	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
標的ガングリオンドを遮蔽する糖脂質:ギラン・バレー症候群の発症と臨床像の規定因子	古賀 道明	臨床神経学講座	1,040,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
非造影マルチパラメトリックMRIによるNASHの早期診断法の確立	伊東 克能	放射線医学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
イメージングバイオマーカーによるCOPDの身体活動性障害の機序解明と解析	村田 順之	呼吸器・感染症内科	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Snフィルターを用いた超低線量小児CT技術の確立のための検討	國弘 佳枝	放射線科	1,040,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒト神経組織と喘息マウスを用いた急性弛緩性脊髄炎の病態解明と予防・治療応用	松重 武志	小児科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルモジュリンの核内移行制御による新しい心不全・心肥大の治療	山本 健	病態検査学講座	1,040,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体を分子標的とした心不全・不整脈の新たな治療開発	小林 茂樹	寄附講座(高齢者心不全治療学講座)	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
COPDにおける身体非活動と認知機能障害の併存病態の解析システム構築	平野 綱彦	呼吸器・感染症内科	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体を標的とした小胞体Ca ²⁺ リーク制御による新しい腎臓病治療法の開発	内海 仁志	器官病態内科学講座	910,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脂質関連遺伝子の異常による先天性毛髪疾患の病態解析	下村 裕	皮膚科学講座	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

臓器間ネットワークによる膵α細胞新生機構と代謝制御の解明	奥屋 茂	保健管理センター	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
消化器癌の遺伝子変異に由来する腫瘍抗原ペプチドの同定と新規免疫療法の開発	裕 彰一	共同研究講座(先端がん治療開発学講座)	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗EGFR抗体は大腸癌をHot tumorに変えることができるか	友近 忍	消化器・腫瘍外科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大腸癌肝転移に関与する癌細胞由来マイクロRNAの同定と制御するメカニズムの解明	徐 明	消化器・腫瘍外科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大腸癌に対するFOLFOXIRI療法における副作用診断チップの開発	鈴木 伸明	消化器・腫瘍外科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管新生因子を搭載した人工型エクソソームによる、難治性心疾患の新規治療法の開発	藏澄 宏之	器官病態外科学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
他家細胞を用いた機能強化型積層細胞シートによる難治性皮膚潰瘍の治療法の開発	柳原 正志	第一外科	992,004	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
静脈性難治性皮膚潰瘍に対する自家細胞シート移植の成績と患者の細胞増殖能との関係	末廣 晃太郎	第一外科	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
虚血プレコンディショニングによるステントグラフト内挿術後腎筋虚血障害の克服	森景 則保	第一外科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺がんの抗がん剤抵抗性に関与する新規遺伝子の同定を目指したRNA修飾酵素の解析	原田 栄二郎	第一外科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
他家積層線維芽細胞シート移植が術後気管支断端にもたらす血流増強効果の検討	田中 俊樹	手術部	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
劇症型急性肺炎の劇症化メカニズムの解明と新規治療法の開発	長谷川 明洋	ゲノム・機能分子解析学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ラット熱中症モデルにおけるNアセチルシステインと水素吸入による新規治療法の開発	中原 貴志	先進救急医療センター	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脂肪量・分布とICU acquired weaknessの関連	古賀 靖卓	先進救急医療センター	130,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
NFATc4に焦点を当てた膠芽腫の壊死周囲微小環境の腫瘍幹細胞誘導能解析	崔 丹	病理形態学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工関節感染の早期診断における新規バイオマーカー関節液中プレセプシンの有用性	今釜 崇	整形外科	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腎癌の免疫チェックポイント阻害剤治療予測マーカーとしてのlncRNAの有用性	平田 寛	泌尿器科学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜リンパ球は子宮体がんの形成に関与するか	城崎 幸介	免疫学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
MED12変異(+)と(-)子宮筋腫の異種移植モデルを用いた治療効果の検討	佐藤 俊	産科婦人科	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

メラニンによる卵子の質向上メカニズムの解明	田村 博史	産科婦人科学講座	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
核内Fアクチン形成によるヒト子宮 内膜間質細胞の脱落膜化機構の 解明	田村 功	産科婦人科	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
知覚神経を介した眼特異的ゲー トウェイ反射の解明と神経伝達物 質による炎症再燃の抑制	柳井 亮二	眼科	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
症例登録事業の根幹をなす精度 検証とその向上に資する支援の あり方についての研究	石田 博	医療情報判断学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Exercise, diet and brain training- based cocktail intervention for improving physical and cognitive	ホセイン マハブブ	公衆衛生学・予防医 学講座	2,210,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
猫ひっかき病のヒトへの感染予防 に向けたネコワクチン・急性期診 断・抗原・バンクの開発	大津山 賢一郎	病態検査学講座	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小中学生の摂取脂肪酸・アミノ酸 の組成データ解析による健康リス クとの関連評価	奥田 昌之	機械工学分野	390,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳がん患者の妊孕性選択を支え る支援ツールの開発	紙谷 恵子	臨床看護学講座	520,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エイジング・イン・プレイスを実現 する地域密着型事業所拠点の看 取り支援体制の構築	永田 千鶴	地域・老年看護学講 座	1,694,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
運動学習における特異的GABA シナプス脱抑制のメカニズムとそ の意義	木田 裕之	神経生理学講座	910,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
睡眠時における大脳皮質領域間 の相互作用を定量する指標の提 案	安部 武志	医学系研究科・医学 部附属病院AIシステ ム医学・医療研究教 育センター	390,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
硬さによる1次繊維制御の分子メ カニズムの解明	徳永 雅之	産科婦人科学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
液体クロマトグラフィー／質量分 析法を用いた川崎病冠動脈病変 誘発物質の特定	大西 佑治	小児科学講座	2,210,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
IL-33/ST2を介した川崎病および 冠動脈病変発症機序の解明	岡田 清吾	総合周産期母子医療 センター	1,040,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
左冠動脈主幹部分岐部病変に対 する最適なtwo stent治療の追求	藤村 達大	第二内科	910,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
独自に誘導した食道癌幹細胞様 細胞を用いた食道癌治療抵抗性 の解析	渡邊 裕策	第二外科	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腫瘍および宿主両面からみた複 合バイオマーカー探索にもとづく 腫瘍個別化治療への展開	中島 正夫	第二外科	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
濃縮骨髓液を用いた良性骨腫瘍 切除後の再建法の開発	三原 惇史	整形外科	910,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜症の線維化に関与する TGFβ経路の活性化機構の解明	三原 由実子	総合周産期母子医療 センター	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

肺病変の検出を目的とした胸部単純X線画像と深層学習を組み合わせた差分技術の開発	清水 陽一郎	放射線部	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
便中の腸内細菌検査による大腸腫瘍診断および大腸腫瘍リスク診断法の開発	末廣 寛	臨床検査・腫瘍学講座	3,380,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
虚血組織に血管新生を誘導する経静脈投与が可能なエクソソーム血管再生療法の開発	濱野 公一	器官病態外科学講座	5,460,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臨床実践に基づいた看護師の呼吸ケア実践能力の解明と評価ツールの開発	田戸 朝美	臨床看護学講座	5,330,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ストレス下における食欲不振の病態解明	柳井 章江	基礎検査学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
変異型熱ショック転写因子導入マウスによる温度ストレス下での個体生命維持機構の解明	林田 直樹	医化学講座	1,040,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアルワールドデータの統合解析で拓くがん免疫薬物療法の致死の有害事象回避法の構築	岡田 直人	薬剤部	910,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Analyses of in vivo neuroprotective role of STB/HAP1	イスラム エムディノ ビウル	神経解剖学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臓器再生を担う力学制御YAPエノンハンセオソームの分子実体の解明	浅岡 洋一	システムズ再生・病態 医化学講座	1,040,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
固形がんに対する次世代型CAR-NK細胞療法の研究開発	佐古田 幸美	免疫学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
赤血球結合IgGのサブクラス別測定法の確立とAIHAにおける溶血機序の考察	山城 安啓	病態検査学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己免疫性中枢神経疾患におけるIgGの中枢移行性を促進するBBB分子の同定	竹下 幸男	寄附講座(神経・筋難 病治療学講座)	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高精細マルチパラメトリックMRIの定量値を用いた肺癌の化学療法効果予測	田辺 昌寛	放射線医学講座	390,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
バイオメカニクスとロボティクスに基づく肺機能/形態融合の次世代動体追跡放射線治療	椎木 健裕	放射線治療部	1,040,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ALK陽性未分化大細胞リンパ腫におけるALK阻害剤耐性の機序解明と新規治療の開発	深野 玲司	小児科学講座	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
遠紫外線照射によるFusobacterium nucleatumの殺菌効果の検討	西川 潤	基礎検査学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規肝臓再生療法における効率的な肝臓修復細胞および重要因子の同定	山本 直樹	保健管理センター	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体の安定化に注目した左室収縮能の保たれた心不全に対する治療法の探査	小田 哲郎	第二内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経線維腫瘍中のマスト細胞関連蛋白阻害による新規治療法の開発	山本 美佐	病態検査学講座	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

SREBF1遺伝子変異によるアトピー性皮膚炎様症状の発症機構の解明	下村 尚子	皮膚科学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
筋インスリン感受性を介した時計遺伝子DBPによる糖・脂質代謝制御機構の解明	太田 康晴	病態制御内科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵癌に対する化学療法副作用関連バイオマーカーの探索と診断チップの開発	武田 茂	消化器・腫瘍外科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝癌における癌幹細胞性獲得と免疫監視逃避における細胞外シグナルの解析	恒富 亮一	第二外科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大伏在静脈グラフトに長期開存をもたらす、周囲脂肪組織の血管保護作用に関する研究	美甘 章仁	器官病態外科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
再生医療における他家積層線維芽細胞シートの新たな緩慢凍結保存法の開発	白澤 文吾	医学教育学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管再生療法を可能にする臨床応用可能な大量培養液からのエクソソーム単離法の開発	上野 耕司	第一外科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
積層線維芽細胞シートの再生医療での普及を目指した乾燥保存法の開発	鈴木 亮	第一外科	1,105,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血糖コントロールを重視したAkt2活性化による新たな脊髄保護法の開発	松本 美志也	麻酔・蘇生学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
髄液 turn over の促進による アミロイドβ クリアランス療法の開発	野村 貞宏	脳神経外科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脊椎脊髄疾患の診断治療を支援する実人体に近いシミュレーションモデルの構築	西田 周泰	リハビリテーション部	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
無精子症における精巣内内分泌環境に着目した単一細胞トランスクリプトーム解析	白石 晃司	泌尿器科学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
妊娠高血圧腎症胎盤における遺伝子発現の変化とその制御機構の解明	品川 征大	産科婦人科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
9軸センサとVOG同期記録による動的平衡機能評価と前庭リハビリテーションへの適用	橋本 誠	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
角膜ジストロフィ表現型の規定因子の探索	山田 直之	眼科学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
周術期低血圧に対する昇圧剤投与は遊離移植組織の吻合部血栓形成を抑制するか	高須 啓之	形成外科	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
クリティカルケア領域における包括的終末期ケアプログラムの開発	山勢 博彰	臨床看護学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
タスク・シフト/シェアを見据えた救急看護師のロールモデルの構築	須田 果穂	臨床看護学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
「正解のない問題」に取り組むメタ認知に着目し公衆衛生看護の思考を深める対話法	牛尾 裕子	地域・老年看護学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

高齢者心不全に合併するサルコペニアの病態解明とその治療アルゴリズムの作成	立石 裕樹	その他(非常勤講師・学校医・学校薬剤師等)	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
環境中での薬剤耐性菌の制御に向けた、原生物のバイオフィルム捕食作用の評価	小林 由紀	基礎検査学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
周産期うつ病早期診断のための高精度スクリーニングシステム構築を目指した縦断的検討	末永 弘美	病態検査学講座	1,580,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
内在性細胞保護因子に着目したパーキンソン病新規治療戦略の構築	野崎 香菜子	神経解剖学講座	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳がん肺転移ニッチを構成する肺線維芽細胞の多様性の理解と転移抑制治療への応用	富永 香菜	高次脳機能病態学講座	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルモジュリン制御による新しい肺高血圧治療法の開発	中村 吉秀	寄附講座(高齢者心不全治療学講座)	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
多発性硬化症患者iPS細胞を用いた血液脳関門破綻候補遺伝子の同定とその臨床応用	西原 秀昭	臨床神経学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
うつ病における情動認知障害に有効な在宅治療プログラムの開発	陳 冲	高次脳機能病態学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳に良い親の養育態度とは何か?ー自閉スペクトラム症児のマルチモダル神経画像研究ー	原田 健一郎	精神科神経科	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小児急性リンパ性白血病におけるNUDT遺伝子多型のディプロタイプ解析方法の確立	市村 卓也	小児科	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
慢性呼吸器疾患における健康寿命喪失過程の解明と健康寿命予測システムの構築	大石 景士	呼吸器・感染症内科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
変異型SERPING1の発現抑制による遺伝性血管性浮腫の治療法の開発	安野 秀一郎	皮膚科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
LIPHと縮毛症の新規原因遺伝子C3ORF52の関連性の解析	浅野 伸幸	皮膚科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
消化管縫合不全回避に向けた線維芽細胞シートを用いた治療法の開発	田中 裕也	第一外科	2,730,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
個別化診療を見据えた膀胱癌克服のための癌幹細胞と腫瘍微小環境に関する研究	徳光 幸生	第二外科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
他家線維芽細胞シート移植に向けた治療効果の高い細胞バンク構築の為の細胞特性解析	溝口 高弘	第一外科	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
温度センサー分子TRPM2を標的とした抗炎症作用による大動脈瘤新規薬物療法の開発	原田 剛佑	第一外科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
実臨床を目指した大型動物での積層線維芽細胞シートを用いた気管支断端癒着予防法の開発	竹内 由利子	医学教育学講座	2,990,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
広汎性脱分極(皮質拡張性抑制)と脳血管自動調節能の関係性についての研究	杉本 至健	脳神経外科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

糖尿病モデルマウスに対するニコチンアミドモノスクレオチド投与による難聴予防の検討	津田 潤子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
CNVおよび網膜下線維化に対する新規ベンゾイルフェニルウレアの作用機序の解明	小林 正明	精神科神経科	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Mincleを介した慢性炎症に起因する脈絡膜新生血管発生の病態解明	永井 智彦	眼科学講座	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
樹状細胞を標的とした、オメガ3脂肪酸を用いた新規の眼炎症抑制療法の開発について	内 翔平	眼科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
熱ショックタンパク質と血管内皮増殖因子による網膜神経保護の病態解明	波多野 誠	眼科	2,730,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
NAD+/PARP1経路に着目したRP制御機構の解明	芦森 温茂	眼科学講座	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
老化骨格筋由来エクソソームを中心とした筋-脳連関の解明	富永 直臣	病態検査学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
経静脈投与が可能な虚血性心疾患に対するエクソソーム治療法の開発	濱野 公一	器官病態外科学講座	3,250,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
生体を反映したがん免疫微小環境ミニ臓器培養系の樹立	清木 誠	システムズ再生・病態医化学講座	2,860,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
シングルセルレベルで微小環境から探る子宮筋腫の発育とその多様性のメカニズムの解明	杉野 法広	産科婦人科学講座	2,860,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己免疫性神経炎症疾患におけるB細胞枯渇療法の作用機序の解明	藤川 晋	脳神経内科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
光-電子相関顕微鏡観察のための3次元ターゲティング法の開発	吉村 安寿弥	その他(TA・RA等以外)医学系研究科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
希少染色体疾患児のための遺伝学的知見を取り入れた学校生活支援モデルの構築	沓脱 小枝子	母子看護学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
がん発症・進展過程におけるYAPの活性化の機械的制御機構の解明	田尾 嘉誉	システムズ再生・病態医化学講座	1,483,348	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
トリプレットリピート病のリポート短縮による根源的治療法の開発	中森 雅之	臨床神経学講座	2,550,960	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
児童虐待の臨床法医学鑑定を見据えた小児の胸腺の非侵襲的検査法の確立	高瀬 泉	法医学講座	810,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
宿主免疫機構と細菌叢の作用を連携させた、細菌感染に対する新規治療法の開発	坂本 啓	ゲノム・機能分子解析学講座	769,127	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗CRISPRタンパク質を用いた新規ゲノム編集法の開発	弘澤 萌	分子細胞生理学講座	2,181,457	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
EPA介護福祉士候補者が求める日本語支援プログラムの開発	住田 靖子	地域・老年看護学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

がんにおけるHSF1複合体を介したエピゲノム制御機構の解明	藤本 充章	医化学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高感度かつ早期診断可能な薬剤性ヒト肝障害発現リスク検出システムの構築	北原 隆志	臨床薬理学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
光受容タンパクLOV2-J α を用いたGABAA受容体 β 3Ser408-409リン酸化と学習の光制御	崎本 裕也	神経生理学講座	3,770,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ストレス回避学習を用いた、Amyloid β oligomerの有害作用抽出と拮抗分子による制御	美津島 大	神経生理学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
出力系時計遺伝子に着目した炎症性腸疾患の病態解明と治療法の展開	田口 昭彦	第三内科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
TurboID法により同定した新規アセチル化酵素群によるHSF1転写制御機構の解明	瀧井 良祐	医化学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
海馬における経験記憶形成プロセスと経験符号化様式の解明	石川 淳子	神経生理学講座	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
long non-coding RNAを標的とした大腸癌早期診断のための検査法の開発	西岡 光昭	検査部	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血清メチル化RUNX3コピー数検査による早期胃がんの診断性能に関する前向き研究	浜辺 功一	第一内科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
フロー体験を用いた前頭葉ニューロフィードバックによるうつ病治療法の開発	松原 敏郎	高次脳機能病態学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症喘息患者における活動制限の病態解明並びに診断・治療支援システムの確立	松永 和人	呼吸器・感染症内科学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
人工知能(AI)を用いた双胎間輸血症候群の発症予測システムの構築	村田 晋	総合周産期母子医療センター	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
間葉系幹細胞の作用を洗練・集約化した抗線維化microRNA封入脂質ナノ粒子の開発	松本 俊彦	消化器内科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
カルモジュリンキナーゼを標的とした炎症抑制・線維化抑制による新規心不全治療の探索	末富 建	器官病態内科学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
心筋梗塞ハイリスク病変に対する血管小胞体Ca制御による新規ブラーク安定化療法の開発	岡村 誉之	器官病態内科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
COPD患者におけるフレイル早期発見、病態管理システムの開発	土居 恵子	寄附講座(呼吸器・健康長寿学講座)	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
多剤耐性菌の制御法の開発に向けた腸内細菌目細菌の環境適応機構の解明	坂本 啓	ゲノム・機能分子解析学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
糖尿病における膵 β 細胞の細胞可塑性と脱分化の成因解明	田部 勝也	病態制御内科学講座	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳癌患者由来オルガノイドを用いた抗癌剤耐性機構の解明	前田 訓子	消化器・腫瘍外科学講座	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

乾燥積層線維芽細胞シートによる消化管縫合不全の予防法の開発	桂 春作	医学教育学講座	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵癌に対する個別化医療展開のための至適薬物療法選択に関する研究	井岡 達也	腫瘍センター	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腫瘍と宿主の動的平衡状態の解明による膵癌個別化治療の開発	新藤 芳太郎	第二外科	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高二酸化炭素血症による脊髄血流増加作用と脊髄虚血予防効果の検討	山下 敦生	麻酔・蘇生学講座	1,040,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ラットを用いた薬物と水素吸入による髄鞘保護を主眼としたCO中毒の新規治療法の確立	藤田 基	救急・総合診療医学講座	2,080,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Glymphatic pathway障害の面から見たくも膜下出血の病態解明および新規治療法の開発	岡 史朗	脳神経外科	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膀胱癌における一次繊毛の中心体制御メカニズム解明による新たな治療戦略の創出	松本 洋明	泌尿器科	2,080,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
異なる刺激方法による子宮内膜間質細胞の脱落膜化は全て同じ脱落膜化 か？	竹谷 俊明	総合周産期母子医療センター	2,080,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜症の発症マスター遺伝子HOXC8過剰発現細胞移植による内膜症病変の再現	前川 亮	総合周産期母子医療センター	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
卵巣高悪性度漿液性腺癌(HGSC)の発生・進展に関与するlncRNAの同定	末岡 幸太郎	産科婦人科学講座	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自家テノンシートを応用した新規緑内障濾過手術の開発	寺西 慎一郎	眼科	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
転写因子MRTF/YAP経路を介したメカノストレスによるRPE制御機構の解明	木村 和博	眼科学講座	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
がん治療時の口腔粘膜炎に対するアミノ酸併用新規支持療法の開発	原田 耕志	歯科口腔外科学講座	3,250,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
非がん性慢性呼吸器疾患患者の呼吸管理選択に関する支援ツールの開発と検証	小野 聡子	基礎看護学講座	650,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳死下臓器提供における家族ケア実践モデルと教育モデルの開発	山本 小奈実	臨床看護学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
がん患者の免疫力アップを目指す口腔ケアプログラムの作成と実施の試み	齊田 菜穂子	臨床看護学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
医療的ケア児のてんかん発症早期の腸内細菌叢と免疫能の解析および追加治療の提案	星出 まどか	社会連携講座(小児救急地域医療学講座)	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
希少染色体疾患児の成人期を見据えた支援体制構築-海外のsocial supportモデルから-	杓脱 小枝子	母子看護学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ネグレクトの支援方針の意思決定における支援者特性アセスメントツールの開発と検証	緒方 彩乃	地域・老年看護学講座	910,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

股関節疾患におけるキネマティクス・キネティクスと患者立脚型アウトカム	坂井 孝司	整形外科科学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗老化因子NAMPTに着目したインスリン抵抗性におけるアミノ酸機能の解明	山口 奈津	システムバイオインフォマティクス講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経ネットワークを介した肝臓-膵α細胞連関による栄養代謝調節の解明	椎木 幾久子	病態制御内科学講座	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
電子カルテ情報によるリアルワールドデータを用いた病態進行を予測するAIの開発	中津井 雅彦	医学系研究科・医学部附属病院AIシステム医学・医療研究教育センター	3,900,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
炎症随伴性破骨細胞を介した老化による骨粗鬆症発症の新規メカニズムの解明	辻 竣也	薬理学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性てんかんに対する温度感受性TRPA1チャネルの有効性と病態制御基盤の解明	森山 博史	脳神経外科	2,600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体を分子標的とした関節リウマチの新規治療開発	名和田 隆司	第二内科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
糖化型可溶性トランスフェリン受容体による新たな肝癌診断バイオマーカーの開発	小林 利彦	検査部	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
計算論的モデルによるリスク嗜好評価を用いたうつ病・不安症・併存病態の神経機序解明	萩原 康輔	精神科神経科	2,600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
頭頸部放射線治療中の腫瘍硬度イメージングを用いた患者個別化治療支援システムの開発	藤本 昂也	放射線治療部	3,250,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Blau症候群におけるアクネ菌病因論の構築	脇口 宏之	小児科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
間葉系幹細胞は新型インフルエンザに起因する肺傷害を改善するか	藤本 洋輔	総合周産期母子医療センター	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
透析患者におけるCalciprotein particleとサルコペニアの関連性	中村 公彦	医療人育成センター	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
胆道がんゲムシタピン耐性化におけるがん幹細胞性を標的とした治療法開発	西山 光郎	手術部	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腫瘍浸潤マクロファージにおけるsiglec-7の機能解明と新規治療法の開発	松井 洋人	第二外科	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腫瘍血管新生を標的としたProtenase-3の機能解明と新規治療法の開発	中島 千代	第二外科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
トランスクリプトーム解析を用いた男性更年期障害(LOH症候群)の病態解明	岡 真太郎	血液浄化療法センター	2,730,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
黄体化に向かう顆粒膜細胞に対する卵丘細胞の役割;シングルセルRNA-seq解析から	白蓋 雄一郎	産科婦人科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血流計測をベースとした肥厚性癰痕の定量評価システムの開発	梅田 浩嗣	歯科口腔外科	3,380,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

トリプルネガティブ乳がん集積を 目指した有機シリカナノ粒子表面 機能化	望月 ちひろ	器官解剖学講座	3,510,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己免疫性ぶどう膜炎に対する 腸内細菌由来代謝産物を用いた 治療法の開発	柴田 健輔	ゲノム・機能分子解析 学講座	3,900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Elucidation of the effects of STB HAP1 in modulating protecting steroid hormone functions by acting	JAHAN MIR RUBAYET	臨床神経学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規の早期肝細胞癌バイオマー カーとしての糖化フェリチン測定 法の開発	石黒 旭代	臨床検査・腫瘍学講 座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
多剤耐性菌の制御法の開発に向 けた腸内細菌目細菌の環境適応 機構の解明	坂本 啓	ゲノム・機能分子解析 学講座	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
トリプレットリピート病のリピート長 変動機構解明とリピート短縮治療 の基盤確立	中森 雅之	臨床神経学講座	3,380,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
早期肝癌発見を可能とするリキッ ドバイオプシー検査体制の構築	山崎 隆弘	臨床検査・腫瘍学講 座	5,330,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
細胞骨格と細胞内小器官を標的 とした放射線ナノ・マルチ増感カ スケード治療の創生	中村 教泰	器官解剖学講座	8,710,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
iPS細胞から誘導した間葉系幹細 胞由来細胞外小胞によるセルフ リー肝臓再生療法の開発	高見 太郎	消化器内科学講座	7,020,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小胞体機能是正によるHFpEFの 新規治療法の開発	矢野 雅文	器官病態内科学講座	7,540,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
T細胞の標的抗原同定に基づく 大動脈瘤の真の原因究明と新た な診療体系の創出	吉村 耕一	器官病態外科学講座	6,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
独自の改良型子宮内膜オルガノ イドを応用した着床機構および着 床不全の病態の解明	杉野 法広	産科婦人科学講座	9,620,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
妊娠初期から始めるうつ病への移 行を防ぐセルフモニタリングの実 証研究	伊東 美佐江	母子看護学講座	7,020,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
産後うつ病撲滅を目指して:科学 的根拠のある産後うつ病予防プロ グラムの社会実装	安達 圭一郎	基礎看護学講座	10,010,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
押されたら押し返すYAPメカノホ メオスターシスによるからだ建築	清木 誠	システムズ再生・病態 医化学講座	6,370,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
YAPメカノホメオスターシスによる 再生の力学制御機構の解明	清木 誠	システムズ再生・病態 医化学講座	5,720,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
自己分子としての共生微生物由 来代謝産物の免疫学的意義の解 明	柴田 健輔	ゲノム・機能分子解析 学講座	3,510,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
生物学的製剤を用いた慢性期医 療の経済効率最適化を目指した 薬剤経済学的研究	税所 篤行	薬剤部	430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
中枢神経バリアー構成細胞の特 性を利用した難治性中枢神経疾 患の新規治療法開発	神田 隆	臨床神経学講座	777,691	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

トリプレットリピート病のリピート長変動機構解明とリピート短縮治療の基盤確立	中森 雅之	臨床神経学講座	1,904,268	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Wfs1欠損によるβ細胞機能障害とインクレチンの効果に関する研究	椎木 幾久子	病態制御内科学講座	600,000	補 委	公益財団法人 日本 応用酵素協会
出力系時計遺伝子から紐解く糖代謝制御メカニズムの解明	田口 昭彦	第三内科	2,000,000	補 委	公益財団法人 鈴木 万平糖尿病財団
マイクロ流体モデルに基づく川崎病冠動脈病変の再構築と発症機序の解明	岡田 清吾	総合周産期母子医療センター	1,100,000	補 委	公益財団法人宮田心 臓病研究振興基金
血液脳関門を標的とした神経疾患の病態解明とその臨床応用	西原 秀昭	臨床神経学講座	2,000,000	補 委	公益財団法人 加藤 記念バイオサイエンス 振興財団
大豆グロブリンに対する高い抗アレルギー作用をもつダイゼイン誘導体の開発	桐明 祐弥	基礎看護学講座	1,600,000	補 委	公益財団法人 飯島 藤十郎記念食品科学 振興財団
ウイルス感染における細胞老化の役割の解明への助成	辻 竣也	薬理学講座	2,000,000	補 委	公益財団法人 武田 科学振興財団
へき地の地域包括ケアを担う看護人材育成・確保循環型システム構築に向けた現状調査	牛尾 裕子	地域・老年看護学講座	1,493,270	補 委	公益財団法人 在宅 医療助成 勇美記念 財団
睡眠環境による乳児死亡の予防に資する啓発資料およびプログラム開発	姫宮 彩子	法医学講座	560,000	補 委	公益財団法人日本健 康アカデミー
野兎病菌のリボフラビン代謝経路の変化を感知する宿主免疫制御機構の解明に基づくワクチン開発	柴田 健輔	ゲノム・機能分子解析学講座	5,000,000	補 委	公益財団法人シオノ ギ感染症研究振興財 団
ダントロレンの短期併用によるアントラサイクリン系抗腫瘍薬の心毒性の革新的予防法	中村 吉秀	寄附講座(高齢者心不全治療学講座)	1,000,000	補 委	公益財団法人 新日 本先進医療研究財団
肺がん組織の分泌エクソソーム内分子解析による新規肺がんバイオマーカーの開発	村上 順一	第一外科	1,000,000	補 委	公益財団法人 新日 本先進医療研究財団
劇症型NK白血球の標準治療開発に向けた病態解明と治療標的の同定	佐野 元昭	器官病態内科学講座	2,997,482	補 委	公益財団法人 武田 科学振興財団
リアノジン受容体のテトラマー構造安定化による心不全とそれに伴う致死的不整脈の治療法開発	中村 吉秀	寄附講座(高齢者心不全治療学講座)	2,000,000	補 委	公益財団法人 循環 器病研究振興財団
川崎病および冠動脈病変発症における自然リンパ球(Innate Lymphoid Cells:ILCs)の関与	岡田 清吾	総合周産期母子医療センター	1,000,000	補 委	公益財団法人 川野 小児医学奨学財団
薬剤関連医療DX推進がもたらす薬物治療の質向上効果の検討	岡田 直人	薬剤部	480,000	補 委	公益財団法人 政策 医療振興財団
次世代シーケンサーを用いた小児ネフローゼ症候群の病態解明	岡田 裕介	小児科	500,000	補 委	公益財団法人 森永 奉仕会
薬剤部門でのタスクシフトによる業務変容が医師の働き方に与える影響	岡田 直人	薬剤部	500,000	補 委	公益財団法人医療科 学研究所
血液脳関門に注目した視神経脊髄炎の病態解明	清水 文崇	脳神経内科	2,000,000	補 委	公益財団法人 中外 創薬科学財団

インスリンまたはインクレチンに関する基礎研究	太田 康晴	病態制御内科学講座	1,000,000	③補 委	公益財団法人 日本 糖尿病財団
難治性てんかんに対する温度感受性TRPA1チャネルの有効性と病態制御基盤の解明(医学)	森山 博史	脳神経外科	1,000,000	③補 委	公益財団法人UBE学 術振興財団
ALK陽性未分化大細胞リンパ腫の予後に関わる腫瘍細胞播種の病態解明(医学)	深野 玲司	小児科学講座	1,000,000	③補 委	公益財団法人UBE学 術振興財団
リアノジン受容体を分子標的とした関節リウマチの新規治療開発	名和田 隆司	第二内科	1,200,000	③補 委	公益財団法人UBE学 術振興財団
骨芽細胞の細胞老化を起点とする新たな骨粗鬆症発症メカニズムの解明	辻 竣也	薬理学講座	1,200,000	③補 委	公益財団法人UBE学 術振興財団
ヒト血液脳関門モデルkit事業化のための大量生産システムの最適化研究	竹下 幸男	寄附講座(神経・筋難 病治療学講座)	2,000,000	③補 委	公益財団法人 YMFG地域企業助成 基金

計285

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Hatano M, Wakuta M, Yamamoto K, 他	眼科学講座	Use of Ranibizumab for evaluating focal laser combination therapy for refractory diabetic macular edema patients: an exploratory study on the RELAND trials	Sci Rep・ 2023/12/27	Article
2	Yanai R, Uchi SH, Kobayashi M, 他	眼科学	Efficacy of ripasudil in reducing intraocular pressure and medication score for ocular hypertension with inflammation and corticosteroid	Int J Ophthalmol・ 2023/6/19	Article
3	Murakami J, Tanaka T, Hoshii Y, 他	器官病態外科学	Microscopic feature of lymph node anthracosilicosis adherent with pulmonary artery: a case report	J Cardiothorac Surg・ 2023/8/22	Article
4	Tanaka T, Murakami J, Yoshimine S, 他	手術部	Effectiveness of Stitch With Pledget to Prevent Prolonged Air Leak in Thoracoscopic Lung Resection	J Surg Res・ 2024/2/10	Article
5	Asami- Noyama M, Ito K, Harada M,他	呼吸器・感染症内科	A case of development of autoimmune pulmonary alveolar proteinosis during the treatment of hypersensitivity pneumonitis	Respir Med Case Rep・ 2023/5/30	Article
6	Chen C, Okubo R, Okawa S, 他	高次脳機能病態学	The diagnostic accuracy of the Edinburgh Postnatal Depression Scale without the self- harm item	J Psychiatr Res・ 2023/7/21	Article
7	Chen C, Kotozaki Y, Okubo R, 他	高次脳機能病態学	Editorial: New insights into stress coping and resilience	Front Behav Neurosci・ 2023/7/31	Editorial
8	Chen C, Okubo R, Okawa S,他	高次脳機能病態学	Broad impact of adverse childhood experiences on postpartum maternal mental health, child- rearing behaviors, and child development in Japan	Psychiatry Clin Neurosci・ 2023/8/3	Letter

9	Chen C, Nibbio G, Kotozaki Y.	高次脳機能病態学	Editorial: Methods and applications in psychopathology: new methods and trends for the understanding of neuropsychiatric disorders	Front Psychol 2023/8/7	Editorial
10	Chen C, Nakagawa S.	高次脳機能病態学	Recent advances in the study of the neurobiological mechanisms behind the effects of physical activity on mood, resilience and emotional disorders	Adv Clin Exp Med• 2023/9/4	Review
11	Chen C, Mochizuki Y, Clemente FM.	高次脳機能病態学	Editorial: Advances in the understanding of the affective and cognitive effects of physical activity, exercise, and sports	Front Psychol• 2024/3/28	Editorial
12	Chen C, Mochizuki Y, Okawa S, 他	高次脳機能病態学	Postpartum loneliness predicts future depressive symptoms: a nationwide Japanese longitudinal study	Arch Womens Ment Health• 2024/1/26	Article
13	Chen C, Okubo R, Okawa S, 他	高次脳機能病態学	The prevalence and risk factors of suicidal ideation in women with and without postpartum depression	J Affect Disord• 2023/8/12	Article
14	Chen C, Okawa S, Okubo R, 他	高次脳機能病態学	Risk factors for mother-to-infant bonding difficulties and maternal anger/rejection towards the infant in a Japanese longitudinal study	Asian J Psychiatr• 2023/9/28	Letter
15	Chen C, Okubo R, Hagiwara K, 他	高次脳機能病態学	The association of positive emotions with absenteeism and presenteeism in Japanese workers	J Affect Disord• 2023/10/16	Article
16	Fujita M, Oda Y, Kaneda K, 他	救急・総合診療医学講座	Temperature difference between jugular bulb and pulmonary artery is associated with neurological outcome in patients with severe traumatic brain injury: A post hoc analysis of a brain hypothermia study	PLoS One• 2023/5/8	Article
17	Chen C, Mochizuki Y, Asai Y, 他	高次脳機能病態学	Determining the optimal cutoff point for the Japanese Mother-to-Infant Bonding Scale: A data-driven approach	Asian J Psychiatr• 2023/12/21	Letter

18	Chen C, Okawa S, Okubo R, 他	高次脳機能病態学	Risk factors for persistent versus episodic mother-to-infant bonding difficulties in postpartum women in a nationwide Japanese longitudinal study	J Affect Disord• 2024/1/10	Article
19	Chen C, Hagiwara K, Nakagawa S.	高次脳機能病態学	Introducing the Chen-Hagiwara Mood Test (CHAMT): A novel, brief scale developed in Japanese populations for assessing mood variations	Asian J Psychiatr• 2024/2/9	Article
20	Chen C, Okawa S, Okubo R, 他	高次脳機能病態学	Mother-to-infant bonding difficulties are associated with future maternal depression and child-maltreatment behaviors: A Japanese nationwide longitudinal study	Psychiatry Res• 2024/2/27	Article
21	Doi K, Hirano T, Oishi K, 他	呼吸器・感染症内科	Gender Difference in the Relationship between Extrapulmonary Factors and Reduced Lung Function in Early Adulthood	J Clin Med• 2024/3/28	Article
22	Fujimoto K, Funaba M, Suzuki H, 他	整形外科	Transcranial Magnetic Stimulation in the Diagnosis of Compressive Myelopathy at the Thoracolumbar Junction	J Clin Neurophysiol• 2024/1/9	Review
23	Fujimura T, Okamura T, Nagoshi R, 他	第二内科	Serial changes of the side-branch ostial area after single crossover stenting with kissing-balloon inflation	Int J Cardiovasc Imaging• 2023/5/16	Article
24	Fujimura T, Okamura T, Nagoshi R, 他	第二内科	Correction to: Serial changes of the side-branch ostial area after single crossover stenting with kissing-balloon inflation	Int J Cardiovasc Imaging• 2023/9/16	Erratum
25	Fukano R, Iijima- Yamashita Y, Iwafuchi H, 他	小児科	Prognostic value of minimal disseminated disease assessed using digital polymerase chain reaction for 3'ALK assays in pediatric anaplastic lymphoma kinasepositive anaplastic large cell lymphoma	Haematologica• 2023/9/7	Letter

26	Fukatsu-Chikumoto A, Hirano T, Takahashi S, 他	呼吸器・感染症内科	Correlation between frailty and reduction in cortical thickness in patients with chronic obstructive pulmonary disease	Sci Rep・2024/3/14	Article
27	Goto A, Hashimoto S, Nakamura K, 他	消化器内科学	Kaposi's Sarcoma of the Stomach	Intern Med・2023/6/14	Article
28	Goto A, Hamabe K, Seto K, 他	消化器内科学	Crystal-Storing Histiocytosis of the Stomach	Am J Gastroenterol・2023/5/19	Note
29	Hamada K, Abe T, Kouda K, 他	呼吸器・感染症内科	Reply to "Questioning Bayesian Inference-Based Models for Estimating Culprit Drugs for Adverse Drug Reactions"	Clin Pharmacol Ther・2023/5/29	Letter
30	Higashi M, Tanabe M, Yamane M, 他	放射線医学	Impact of fat on the apparent T1 value of the liver: assessment by water-only derived T1 mapping	Eur Radiol・2023/8/8	Article
31	Inoue T, Kaneda K, Ise N, 他	救急・総合診療医学	Effects of cardiopulmonary resuscitation instructions on the outcomes of out-of-hospital cardiac arrest: An analysis of the JAAM-OHCA registry	Acute Med Surg・2023/9/27	Article
32	Ioka T, Shindo Y, Ueno M, 他	臨床検査・腫瘍学	Current progress in perioperative chemotherapy for biliary tract cancer	Ann Gastroenterol Surg・2023/7/7	Review
33	Ishiguchi H, Okamura T, Yano M.	器官病態内科学	Thrombus formation on the stump of a resected left atrial appendage in a case with a history of left atrial appendage thrombus owing to left atrial ischaemia: a follow-up case report	Eur Heart J Case Rep・2023/5/15	Article
34	Ishiguchi H, Yoshiga Y, Shimizu A, 他	器官病態内科学	Association between the atrial tachyarrhythmia recurrence period and long-term major adverse clinical events following catheter ablation for atrial fibrillation	Int J Cardiol Heart Vasc・2023/6/5	Article
35	Ishiguro A, Nishioka M, Morishige A, 他	臨床検査・腫瘍学	Determination of the Optimal Wavelength of the Hemolysis Index Measurement	J Clin Med・2023/9/28	Article

36	Ishikawa T, Kawamoto D, Nishimura T, 他	消化器内科学	Portopulmonary Hypertension Treated by Occlusion of a Spontaneous Portosystemic Shunt Followed by Endothelin Receptor Antagonist Administration	J Vasc Interv Radiol・ 2023/11/6	Letter
37	Maekawa R, Ota Y, Ota I, 他	産科婦人科	Combined histological and DNA methylome profiling approaches may provide insights into the pathophysiology of ovarian endometriomas	Reprod Med Biol・ 2023/12/18	Article
38	Shirafuta Y, Tamura I, Shiroshita A, 他	産科婦人科	Analysis of cell-cell interaction between mural granulosa cells and cumulus granulosa cells during ovulation using single-cell RNA sequencing data of mouse ovary	Reprod Med Biol・ 2024/2/16	Article
39	Tamura I, Shiroshita A, Fujimura T, 他	産科婦人科	Glucose and lipid metabolisms in human endometrial stromal cells during decidualization	Endocr J・ 2023/4/21	Review
40	Tamura I, Shiroshita A, Fujimura T, 他	産科婦人科	Genome-wide analysis of histone modifications that underlie the dynamic changes in gene expression during decidualization in human endometrial stromal cells	Mol Hum Reprod・ 2023/6/13	Review
41	Umeda H, Shiraishi M, Mishima K.	歯科口腔外科学講座	Long-Term Follow-Up of Hypoglossia- Hypodactylia Syndrome: A Case Report	Cureus・ 2023/8/3	Case Reports
42	Kouki Y, Okada N, Saga K, 他	臨床研究センター	Disproportionality Analysis on Hypothyroidism With Roxadustat Using the Japanese Adverse Drug Event Database	J Clin Pharmacol・ 2023/7/6	Article
43	Manabe Y, Shiinoki T, Fujimoto K, 他	放射線治療科	Intra- and inter- fractional variations of tumors with fiducial markers measured using respiratory-correlated computed tomography images for respiratory gated lung stereotactic body radiation therapy	J Appl Clin Med Phys・ 2024/1/22	Article
44	Okada S, Suzuki E, Suzuki Y, 他	総合周産期母子医療センター	Japanese siblings with multicentric osteolysis nodulosis and arthropathy	Pediatr Int・ 2024/2/27	Article

45	Matsumoto S, Morikage N, Oie S.	集中治療部	Burkholderia cepacia- contaminated dentures possibly cause pneumonia	J Water Health・ 2023/6/30	Article
46	Matsumoto S, Nakahara Y, Yonezawa T, 他	放射線医学	Development of an individual display optimization system based on deep convolutional neural network transition learning for somatostatin receptor scintigraphy	Radiol Phys Technol・ 2024/1/2	Article
47	Matsuo K, Takeshita Y.	臨床神経学	[Mechanism of Synthesis and Effect of Autoantibodies: Implications for Therapy]	Brain Nerve・ 2023/6/8	Article
48	Maeda N, Yu X, Nabeya M, 他	消化器・腫瘍外科学講座	[Invasive Ductal Carcinoma within a Borderline Malignancy Phyllodes Tumor-A Case Report]	Gan To Kagaku Ryoho・ 2024/2/2	Case Reports
49	Matsui H, Shindo Y, Yamada D, 他	消化器・腫瘍外科学講座	A novel prediction model of pancreatic fistula after pancreaticoduodenecto my using only preoperative markers	BMC Surg・ 2023/10/12	Article
50	Matsuo K, Engelhardt B, Nishihara H.	臨床神経学講座	Differentiation of Human Induced Pluripotent Stem Cells to Brain Microvascular Endothelial Cell-Like Cells with a Mature Immune Phenotype	J Vis Exp・ 2023/6/15	Article
51	Matsuo K, Nshihara H.	臨床神経学講座	Rebuilding insight into the pathophysiology of Alzheimer's disease through new blood- brain barrier models	Neural Regen Res・ 2024/1/16	Review
52	Shindo Y, Tokumitsu Y, Nakajima M, 他	消化器・腫瘍外科学講座	Laparoscopic spleen- preserving distal pancreatectomy: A novel technique with splenic artery resection and splenic vein preservation	Asian J Endosc Surg・ 2023/11/15	Article
53	Shindo Y, Tokumitsu Y, Matsui H, 他	消化器・腫瘍外科学講座	Efficacy of Staging Laparoscopy in Patients With Pancreatic Cancer: A Single Center Prospective Cohort Study	In Vivo・ 2023/10/31	Article

54	Matsuyama H, Matsubara N, Kazama H, 他	泌尿器科学	Real-world effectiveness of third-line cabazitaxel in patients with metastatic castration-resistant prostate cancer: CARD-like analysis of data from a post-marketing surveillance in Japan	BMC Cancer • 2023/6/12	Article
55	Yamamoto T, Tsunedomi R, Nakajima M, 他	消化器・腫瘍外科学	ASO Author Reflections: Characteristics of the Relationship Between IL-6 Levels and Tumor Microenvironment in Patients with Colorectal Cancer	Ann Surg Oncol • 2023/5/5	Note
56	Yamamoto T, Tsunedomi R, Nakajima M, 他	消化器・腫瘍外科学講座	IL-6 Levels Correlate with Prognosis and Immunosuppressive Stromal Cells in Patients with Colorectal Cancer	Ann Surg Oncol • 2023/5/24	Article
57	Mihara A, Iwanaga R, Muramatsu K, 他	整形外科	Reply to letter to the editor by Wang et al	J Orthop Sci • 2023/8/21	Letter
58	Mihara A, Iwanaga R, Yukata K, 他	整形外科	Neutrophil-, Monocyte- and Platelet-to-Lymphocyte Ratios, and Absolute Lymphocyte Count for Diagnosis of Malignant Soft-tissue Tumors	Anticancer Res • 2023/6/23	Article
59	Mitsuda M, Nakajima M.	リハビリテーション部	Effects of spinal segmental flexion and extension exercises on spinal flexibility	J Bodyw Mov Ther • 2023/6/18	Article
60	Miyoshi K, Tanabe M, Ihara K, 他	放射線医学	Dual-Source Contrast-Enhanced Multiphasic CT of the Liver Using Low Voltage (70 kVp): Feasibility of a Reduced Radiation Dose and a 50% of Contrast Dose	Tomography • 2023/9/22	Article
61	Murata Y, Hirano T, Doi K, Fukatsu-Chikumoto A, 他	呼吸器・感染症内科	Computed Tomography Lung Density Analysis: An Imaging Biomarker Predicting Physical Inactivity in Chronic Obstructive Pulmonary Disease: A Pilot Study	J Clin Med • 2023/4/28	Article
62	Saeki I, Suehiro Y, Yamauchi Y, 他	消化器内科学	Methylated SEPT9 assay-based liquid biopsy as a biomarker in molecular targeted agent-treated hepatocellular carcinoma	Hepatol Int • 2023/5/15	Article

63	Nakamori M, Nakatani D, Sato T, 他	臨床神経学	Erythromycin for myotonic dystrophy type 1: a multicentre, randomised, double- blind, placebo- controlled, phase 2 trial	EClinicalMedicine・ 2024/2/5	Article
64	Nakamura Y, Yasuno N.	放射線部	Feasibility study of radioactivity estimation of (99m)Tc and (123)I- labeled radiopharmaceuticals using shielded syringes	Radiol Phys Technol・ 2024/3/22	Article
65	Funaba M, Kanchiku T, Yoshida G, 他	整形外科	Impact of Preoperative Motor Status for the Positive Predictive Value of Transcranial Motor-Evoked Potentials Alerts in Thoracic Spine Surgery: A Prospective Multicenter Study by the Monitoring Committee of the Japanese Society for Spine Surgery and Relat	Global Spine J・ 2023/8/22	Article
66	Imajo Y, Nishida N, Funaba M, 他	整形外科	Factors associated with improvement in tibialis anterior weakness due to lumbar degenerative disease	J Orthop Sci・ 2023/5/6	Article
67	Nakamura Y, Kangai Y, Sato S, 他	放射線部	[Impact of Residual Radioactivity Rate of (99m)Tc-macro Aggregated Albumin (MAA) in Syringes and Administration Routes with a Focus on Pediatric Nuclear Medicine Examinations]	Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi・ 2023/6/26	Article
68	Kobayashi Y, Sugahara K, Takemoto Y, 他	整形外科	Protective effect of astaxanthin nanoemulsion on mammalian inner ear hair cells	PeerJ・ 2023/9/13	Article
69	Nishida N, Jiang F, Kitazumi R, 他	リハビリテーション部	Finite element analysis of short and long posterior spinal instrumentation and fixation for different pathological thoracolumbar vertebral fractures	World Neurosurg X・ 2023/5/8	Article
70	Nishida N, Mumtaz M, Tripathi S, 他	リハビリテーション部	The Effect of Posterior Lumbar Interbody Fusion in Lumbar Spine Stenosis with Diffuse Idiopathic Skeletal Hyperostosis: A Finite Element Analysis	World Neurosurg・ 2023/5/26	Article

71	Nishida N, Suzuki H, Jiang F, 他	リハビリテーション部	Posterior Fixation for Different Thoracic- Sacrum Alignments Containing a Thoracolumbar Vertebral Fracture: A Finite Element Analysis	World Neurosurg• 2023/7/8	Article
72	Seki K, Seki T, Imagama T, Matsuki Y, 他	整形外科科学講座	Medial Soft Tissue- Preserving Technique Impact on Sagittal Stability in Bi-cruciate Stabilized Total Knee Arthroplasty	Indian J Orthop• 2023/6/29	Article
73	Seki T, Seki K, Imagama T, Okazaki T, 他	整形外科	Autologous Chondrocyte Implantation With Collagen Membrane Using a Knotless Suture Bridge Technique	Cureus• 2024/1/22	Case Reports
74	Nawata T, Yano M.	器官病態内科学	Sternoclavicular Joint Arthritis in a Patient with Psoriatic Arthritis	Mediterr J Rheumatol• 2024/1/29	Article
75	Nawata T, Goda K, Tsutsui M, 他	器官病態内科学	Concurrent immunoglobulin G4- related disease and hypereosinophilia with persistent fever and simultaneous acute multi-organ involvement	Rheumatol Adv Pract• 2023/10/9	Letter
76	Imagama T, Okazaki T, Matsuki Y, 他	整形外科科学	Negative correlation between central sensitization and forgotten joint score-12 after total hip arthroplasty	J Orthop Surg Res• 2023/9/15	Article
77	Imagama T, Matsuki Y, Okazaki T, 他	整形外科科学	Change in hip laxity after anterior capsular suture in total hip arthroplasty using direct anterior approach	Sci Rep• 2024/1/27	Article
78	Nishimoto T, Oka F, Fujii N, 他	脳神経外科学	Progressive arteriopathy with vasospasm in focal cerebral arteriopathy in childhood: a case report	BMC Neurol• 2023/7/24	Article
79	Nishimoto T, Oka F, Okazaki K, 他	脳神経外科学	Safety of Tailored Transfemoral Carotid Artery Stenting for Symptomatic Elderly Patients: A Single Center Observational Study	World Neurosurg• 2023/11/15	Article

80	Oishi K, Hamada K, Murata Y, 他	呼吸器・感染症内科	A Real-World Study of Achievement Rate and Predictive Factors of Clinical and Deep Remission to Biologics in Patients with Severe Asthma	J Clin Med・ 2023/4/28	Article
81	Shiraishi K.	泌尿器科学	Evaluation of sexual function after robot-assisted radical prostatectomy: A farewell to IIEF questionnaire	Int J Urol・ 2023/8/1	Review
82	Shiraishi K.	泌尿器科学	Editorial Comments to "The erectile and ejaculatory implications of the surgical management of rectal cancer"	Int J Urol・ 2023/8/8	Note
83	Shiraishi K.	泌尿器科学	This issue 30-11	Int J Urol・ 2023/11/1	Article
84	Okada N, Niimura T, Saisy A, 他	薬剤部	Pharmacovigilance Study on Eosinophilic Pneumonia Induced by Anti-MRSA Agents: Analysis Based on the FDA Adverse Event Reporting System	Open Forum Infect Dis・ 2023/8/21	Article
85	Shimomura N, Sugimoto H, Nakayama A, 他	皮膚科学講座	Case of mycosis fungoides palmaris et plantaris possibly associated with nail psoriasis	J Dermatol・ 2023/9/4	Letter
86	Shimomura Y.	皮膚科学講座	Molecular Basis of Hereditary Hair Diseases	Keio J Med・ 2023/7/5	Article
87	Okazaki T, Imagama T, Tanaka H, 他	整形外科科学	Comparison of simultaneous versus staged bilateral total hip arthroplasty via the direct anterior approach: A propensity score matched analysis	J Orthop Surg (Hong Kong)・ 2023/6/21	Article
88	Ozaki M, Kobayashi T, Fujinaga A, 他	薬剤部	Influence of filtering on the effective concentration and sterility of a 2% cyclosporine ophthalmic solution: a quality improvement perspective	J Pharm Health Care Sci・ 2023/12/26	Article
89	Kunihiro Y, Matsumoto T, Murakami T, 他	放射線医学	A quantitative analysis of long-term follow-up computed tomography of idiopathic pulmonary fibrosis: the correlation with the progression and prognosis	Acta Radiol・ 2023/5/18	Article

90	Saisyō A, Hashimoto S, Ishida H, 他	薬剤部	Treatment of Inflammatory Bowel Disease with Biologics in Japan: A Single- Center, Retrospective Pharmacoeconomic Study	Biol Pharm Bull• 2024/1/21	Article
91	Tanabe M, Hideura K, Higashi M, 他	放射線医学講座	Impact on the image quality of modified reduced field-of-view diffusion-weighted magnetic resonance imaging of pancreatic adenocarcinoma using spatially tailored two- dimensional radiofrequency pulses with a tilted excitation plane: A comparison with conve	Eur J Radiol• 2023/10/13	Article
92	Tanabe M, Higashi M, Tanabe M, 他	放射線医学講座	Automated whole- volume measurement of CT fat fraction of the pancreas: correlation with Dixon MR imaging	Br J Radiol• 2023/4/5	Article
93	Fujimoto K, Shiinoki T, Kawazoe Y, 他	放射線腫瘍学	Biomechanical imaging biomarker during chemoradiotherapy predicts treatment response in head and neck squamous cell carcinoma	Phys Med Biol• 2024/2/15	Article
94	Shinoda S, Sharma NS, Nakamura N, 他	消化器内科学	Interferon-expressing oncolytic adenovirus + chemoradiation inhibited pancreatic cancer growth in a hamster model	Cancer Sci• 2023/7/13	Article
95	Suzuki H, Tahara S, Mitsuda M, Funaba M, Fujimoto K, Ikeda H, Izumi H, Yukata K, Seki K, Uranami K, Ichihara K, Nishida N, Sakai T.	整形外科	Reference intervals and sources of variation of pressure pain threshold for quantitative sensory testing in a Japanese population	Sci Rep 2023/8/10	Article
96	Shiinoki T, Fujimoto K, Kawazoe Y, Yuasa Y, Kajima M, Manabe Y, Hirano T, Matsunaga K, Tanaka H.	放射線腫瘍学	Assessing four- dimensional CT stress maps derived from patient-specific biomechanical models of the lung with pulmonary function test data in lung cancer patients	Br J Radiol 2023/7/2	Article

97	Tanaka H, Karita M, Ueda K, 他	放射線腫瘍学講座	Differences in Radiosensitivity According to EGFR Mutation Status in Non-Small Cell Lung Cancer: A Clinical and In Vitro Study	J Pers Med• 2024/1/22	Article
98	Tanaka H, Ueda K, Karita M, 他	放射線腫瘍学講座	Immune Checkpoint Inhibitors after Radiation Therapy Improve Overall Survival Rates in Patients with Stage IV Lung Cancer	Cancers (Basel)• 2023/9/9	Article
99	Tanaka H, Ono T, Ueda K, 他	放射線腫瘍学講座	Deep inspiration breath hold real-time tumor- tracking radiation therapy (DBRT) as a novel stereotactic body radiation therapy approach for lung tumors	Sci Rep• 2024/1/29	Article
100	Yuasa Y, Shiinoki T, Fujimoto K, 他	放射線部	Pseudo dual-energy CT-derived iodine mapping using single- energy CT data based on a convolution neural network	BJR Open• 2023/11/9	Article
101	Suzuki H, Ikeda H, Nishida N, 他	整形外科	Pediatric Spinal Giant Cell-rich Osteosarcoma: Case Report and Brief Literature Review	Anticancer Res• 2023/9/29	Article
102	Suzuki N, Shindo Y, Nakajima M, 他	消化器・腫瘍外科学	Current status of vaccine immunotherapy for gastrointestinal cancers	Surg Today• 2023/12/3	Review
103	Takasu H, Yagi S, Taguchi S, 他	形成外科	External Ear Melanoma Treated with Auricular Reconstruction Using Four Different Tissues in a 16-Year-Old Patient	Plast Reconstr Surg Glob Open• 2023/6/16	Article
104	Takemitsu M, Kudomi S, Takegami K, 他	放射線部	The effect of a pre- reconstruction process in a filtered back projection reconstruction on an image quality of a low tube voltage computed tomography	Radiol Phys Technol• 2023/12/15	Article
105	Tanabe N, Saeki I, Aibe Y, 他	検査部	Early Prediction of Response Focused on Tumor Markers in Atezolizumab plus Bevacizumab Therapy for Hepatocellular Carcinoma	Cancers (Basel)• 2023/6/10	Article

106	Tsunedomi R, Shindo Y, Nakajima M, 他	消化器・腫瘍外科学	The tumor immune microenvironment in pancreatic cancer and its potential in the identification of immunotherapy biomarkers	Expert Rev Mol Diagn・ 2023/11/10	Review
107	Wakiguchi H, Kaneko U, Sato S, 他	小児科学	Clinical Features of COVID-19 in Pediatric Rheumatic Diseases: 2020-2022 Survey of the Pediatric Rheumatology Association of Japan	Viruses・ 2023/5/27	Article
108	Yamaji Y, Hirano T, Ogawa H, 他	呼吸器・感染症内科	Utility of the Shortness of Breath in Daily Activities Questionnaire (SOBDA-Q) to Detect Sedentary Behavior in Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease (COPD)	J Clin Med・ 2023/6/28	Article
109	Koga M.	臨床神経学	[Guillain-Barré Syndrome: The Benefits of Autoantibodies in Daily Practice]	Brain Nerve・ 2023/7/11	Article
110	Yamashita A, Fukui T, Yamashita S, 他	麻酔・蘇生学	The combination of hydrogen gas and hydrogen-rich solution does not protect against ischemic spinal cord injury in rabbits	J Anesth・ 2024/3/17	Article
111	Yanagihara M, Matsuno Y, Ueno K, 他	器官病態外科学	Fibroblasts are the most suitable cell source for regenerative medicine due to their high intracellular fibroblast growth factor 2 content	Biochem Biophys Rep・ 2023/7/17	Article
112	Shimizu F.	臨床神経学	Bilateral External Ophthalmoplegia Induced by Herpes Zoster Ophthalmicus	Intern Med・ 2024/2/25	Article
113	Shimizu F.	臨床神経学	[Blood-brain barrier breakdown and autoimmune cerebellar ataxia]	Rinsho Shinkeigaku・ 2024/2/25	Review

計 113件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	上田 高顕,伊原 研一郎,飯田 悦史,田辺 昌寛,田邊 雅也,成清 紘司,中嶋 優智,伊東 克能	放射線部	閉鎖動脈からの産道出血に塞栓術を施行した1例	日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌・2024	Case report
2	平野 綱彦,土居 恵子,深津 愛祐美,村田 順之,大石 景士,大畑 秀一郎,末竹 諒,山路 義和,浅見 麻紀,枝國 信貴,角川 智之,松永 和人	呼吸器・感染症内科	COPD合併を含む喘息の身体非活動を検出する基本チェックリストの有用性	アレルギー・2023/8/25	Original Article
3	岡田 直人,東 桃代,石澤 啓介,北原 隆志	薬剤部	困血症患者に対する薬剤師主導のprospective audit and feedbackがもたらす臨床効果	日本化学療法学会雑誌・2023/3	Others
4	小野 菜生,八木 献,田口 沙和,古川 惣一,中浜 都,高須 啓之	形成外科	生体腎移植後患者に生じた糖尿病性足潰瘍の周術期に急性感染性電撃性紫斑病にいたった1例	日本形成外科学会会誌・2023/5/20	Original Article
5	河村 宜克,藤田 基,井上 智顕,山本 隆裕,古賀 靖卓,八木 雄史,中原 貴志,戸谷 昌樹,金田 浩太郎,鶴田 良介	先進救急医療センター	トンネル内の急性一酸化炭素中毒事故における現場活動ならびに多施設連携	日本臨床救急医学会雑誌・2023	Case report
6	井上 智顕,藤田 基,山本 隆裕,古賀 靖卓,八木 雄史,戸谷 昌樹,中原 貴志,金田 浩太郎,鶴田 良介	先進救急医療センター	腎代替療法(RRT)を導入した横紋筋融解症のRRT施行日数と離脱遷延因子の検証	日本集中治療医学会雑誌・2023/6	Original Article

7	太田 康晴,秋山 優,淀川千佳,中林 容子,田口 昭彦,新藤 芳太郎,天野 彰吾,末永 成之,川谷 由紀,小賀 厚德,星井 嘉信,伊藤 浩史,高見 太	病態制御内科学講座	MEN1に合併し, 粘液性嚢胞腫瘍(MCN)との鑑別困難な大型の嚢胞様形態を伴った多発性膵神経内分泌腫瘍の1例	膵臓・ 2023/10/31	Case report
8	川上 かおり,下村 尚子,上田 茜,鬼束 真美,安野 秀一郎,下村 裕	皮膚科	アダリムマブで治療した化膿性汗腺炎の2例	西日本皮膚科・ 2023/8/1	Case report
9	原田 佳代子,古賀 靖卓,八木 雄史,戸谷 昌樹,金田 浩太郎,藤田 基,鶴田 良介	先進救急医療センター	破傷風回復期に両側横隔膜麻痺を呈した1例	日本救急医学会雑誌・ 2023/6/15	Case report
10	津山 高典,末永 成之,浜本 佳織,矢田 祥子,天野 彰吾,篠田 崇平,高見 太郎	第一内科	当院における膵周囲液体貯留に対するEUS下ドレナージ法の比較検討	Gastroenterological Endoscopy・ 2023/4/27	Original Article
11	津山 高典,末永 成之,浜本 佳織,矢田 祥子,天野 彰吾,篠田 崇平,高見 太郎	第一内科	亜全胃温存膵頭十二指腸切除術後に胆管内魚骨迷入により巨大肝膿瘍を生じた1例	Gastroenterological Endoscopy・ 2023/11/20	Case report
12	小野 菜生,八木 献,田口 沙和,古川 惣一,中浜 都,高須 啓之	形成外科	生体腎移植後患者に生じた糖尿病性足潰瘍の周術期に急性感染性電撃性紫斑病にいたった1例	日本形成外科学会会誌・ 2023/5/20	Case report
13	久永 拓郎,竹内 由利子,西本 新,桂 春作,白澤 文吾	医学教育学講座	「臨床実習の到達目標」のオンライン自己評価,3年間の動向	山口医学・ 2023/5/29	Others
14	増本政也,石田 哲也,安元 眞吾,元岡 大道,小曾根基 裕	高次脳機能病態学講座	心因性非てんかん発作における診断と治療 日常臨床における治療的取り組み	最新精神医学・ 2023/9	Original Article
15	橋本 誠,山下 裕司	耳鼻咽喉科学	【漢方治療のエビデンス構築】エビデンス各論 漢方薬(方剤)牛車腎気丸,八味地黄丸	JOHNS・ 2023/6	Others
16	山口 道也	医療の質・安全管理部	【教えて先輩! 皮膚科診療の困りごと】アドバンストステージ 診療のしかた 皮膚科診療における医療安全	皮膚科の臨床・ 2023/5	Others

17	西田 周泰,鈴木 秀典,船場 真裕,藤本 和弘,池田 裕暁,坂井 孝司	リハビリテーション部	【有椎骨髄領域の画像診断-最新の知識と進歩】脊椎脊髄の画像診断の進歩と最新の知識 脊椎脊髄における有限要素解析	整形・災害外科・ 2023/4	Original Article
18	大石 景士,浅見 麻紀,山本 佑,濱田 和希,大畑 秀一郎,村田 順之,山路 義和,枝國 信貴,平野 綱彦,松永 和人	器官病態内科学講座	1分間椅子立ち上がりテストは間質性肺疾患患者におけるフレイル合併評価に有用である	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌・ 2023/11/17	Others
19	山口 道也,村田 順之,杉本 紘子,安野 秀一郎,下村 裕	皮膚科、医療の質・安全管理部	Brodalumabで加療中に小細胞肺癌を併発した尋常性乾癬の1例	西日本皮膚科・ 2023/6/1	Case report
20	村田 晋,名尾 法恵,岡田 真希,白蓋 雄一郎,松本 慶子,松浦 真砂美,前川 亮,杉野 法広	産科婦人科学	selective IUGR type2,3に対し,胎児鏡下レーザー凝固術を行った症例	超音波医学・ 2023/4/15	Case report
21	井本 浩哉,貞廣 浩和,野村 貞宏,藤井 奈津美,森山 博史,丸田 雄一,星出 まどか,松重 武志,井上 裕文,石原 秀行	脳神経外科	VNS留置困難例に対する工夫 特に神経超音波検査の有用性について	臨床神経生理学・ 2023/10/1	Original Article
22	武田 茂,西山 光郎,渡邊 裕策,飯田 通久,中島 千代,山本 常則,新藤 芳太郎,徳光 幸生,友近 忍,鈴木 伸明,永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学	ゼロを実現可能にするSSIバンドル対策の提唱 胸部食道切除術における感染性合併症軽減の工夫	日本外科感染症学会雑誌・ 2023/11	Original Article
23	津田 潤子,菅原 一真,橋本 誠,山下 裕司	耳鼻咽喉科学	マウスに対するニコチンアミドモノヌクレオチド(NMN)投与による聴覚の検討	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報・ 2023/4/20	Original Article
24	山口 道也	皮膚科、医療の質・安全管理部	医師に必要な感染管理	日本皮膚科学会雑誌・ 2023/5/15	Original Article
25	森景 則保,大塚 遼,池 創一,溝口 高弘,竹内 由利子,原田 剛佑,末廣 晃太郎,濱野 公一	器官病態外科学	遠隔成績を見据えた腹部大動脈瘤の治療戦略 腹部大動脈瘤に対するEVARの遠隔成績改善のための取り組み Preemptive IMA塞栓の randomized control trial(RCT)の中期成績と全分枝塞栓の早期成績からの展望	日本外科学会定期学術集会抄録集・ 2023	Others

26	久永 拓郎,西村 達朗,田邊 規和,大野 高嗣,佐伯 一成,松本 俊彦,丸本 芳雄,石川 剛,山崎 隆弘,高見 太郎	医学教育学	肝硬変の成因と病態の推移 当院における肝硬変の成因と病態の経時推移	肝臓・ 2023/4/30	Original Article
27	松本 俊彦,石川 剛,高見 太郎	消化器内科学講座	肝硬変合併症の基礎と臨床 自己完結型肝硬変再生療法と抗線維化エクソソーム補助療法の開発	肝臓・ 2023/4/30	Original Article
28	西村 達朗,石川 剛,高見 太郎	消化器内科	肝線維化・門脈圧亢進症評価法の進歩 門脈圧亢進症におけるHVPGの非侵襲的代替マーカーの探索	肝臓・ 2023/10/25	Original Article
29	田辺 昌寛,飯田 悦史,小林 大河,田邊 雅也,伊原 研一郎,井上 敦夫,成清 紘司,上田 高顕,伊東 克能	放射線医学講座	巨大肝静脈瘤に対して血管塞栓術を行った1例	日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌・ 2023	Others
30	松本 俊彦,竹 司,吉田 剛,町野 正明,安藤 宗治,川端 茂徳,山田 圭,岩崎 博,重松 英樹,藤原 靖,田所 伸朗,高橋 雅人,和田 簡一郎,後迫 宏紀,松山 幸弘,今谷 忠郎	整形外科	胸椎手術において術前筋力低下症例はMEPによる脊髄モニタリングの有用性が高まる	Journal of Spine Research・ 2023/2/16	Original Article
31	濱田 和希,安部 武志,早野 崇英,大畑 秀一郎,山路 義和,村田 順之,大石 景士,浅見 麻紀,枝國 信貴,平野 綱彦,中津井 雅彦,浅井 義之,松永 和人	呼吸器・感染症内科学講座/システムバイオイノベーション講座	呼吸器診療を支援する医療AI技術の開発	日本臨床検査医学会誌・ 2023/10/31	Original Article
32	村上 順一,田中 俊樹,山本 直宗,今村 信宏,濱野 公一	器官病態外科学	甲状腺癌の気管浸潤例、甲状腺と気管の同時性重複癌例に対する耳鼻咽喉科との合同手術	日本呼吸器外科学会雑誌・ 2023/6	Original Article

33	鈴木 伸明, 友近 忍, 藤原 康弘, 松井 洋人, 新藤 芳太郎, 徳光 幸生, 渡邊 裕策, 飯田 通久, 武田 茂, 井岡 達也, 永野 浩昭	消化器・腫瘍外科	高度肥満症例における脾彎曲部結腸癌に対する腹腔鏡下頭側アプローチ先行手技	日本大腸肛門病学会雑誌・2023/9	Case report
34	竹内 由利子, 久永 拓郎, 西本 新, 桂 春作, 白澤 文吾	医学教育学	国家試験勉強に関するアンケート調査から探る合格率向上の鍵	医学教育・2023/9	Original Article
35	藤本 和弘, 鈴木 秀典, 西田 周泰, 舩場 真裕, 池田 裕暁, 市原 佑介, 今城 靖明, 山本 学, 坂井 孝司	整形外科	腰椎椎間板ヘルニアに対するコンドリアーゼ治療は手術適応を変えたか? 2施設5年間での検討	西日本脊椎研究会抄録集・2023	Case report
36	今城 靖明, 鈴木 秀典, 舩場 真裕, 西田 周泰, 坂井 孝司	整形外科	腰椎変性疾患による前脛骨筋筋力低下の改善に係る因子の検討	Journal of Spine Research・2023/10/1	Original Article
37	山口 道也, 原田 和恵, 須田 文, 下村 裕	皮膚科、医療の質・安全管理部	山口大学皮膚科乾癬外来における診療状況	日本臨床皮膚科医会雑誌・2023/5/15	Original Article
38	松井 洋人, 徳光 幸生, 新藤 芳太郎, 中島 正夫, 木村 祐太, 井岡 達也, 永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学	腫瘍の局在に応じた腹腔鏡下内側区域切除術の定型化	肝臓・2023/10/25	Original Article
39	舩場 真裕, 今城 靖明, 鈴木 秀典, 西田 周泰, 坂井 孝司	整形外科	術後前屈位の後彎変形は頸椎症性脊髄症に対する椎弓形成術の治療成績と関連する	Journal of Spine Research・2023/4	Original Article
40	岡田 清吾, 安戸 裕貴, 大西 佑治, 元永 貴大, 松隈 知恵, 深野 玲司, 鰐石 貴子, 長谷川 俊史	総合周産期母子医療センター	川崎病新規バイオマーカーおよび治療標的としてのインターロイキン33/ST2系	山口医学・2023/11/27	Original Article
41	松隈 知恵, 高橋 一雅, 時高 留依, 濱野 弘樹, 兼安 秀信, 藤本 洋輔	総合周産期母子医療センター	早産児の生後早期胃液を用いたサイトカイン測定の有用性について	日本新生児成育医学会雑誌・2023/10/15	Original Article
42	田村 功, 高崎 ひとみ, 城下 亜文, 藤村 大志, 白蓋 雄一郎, 前川 亮, 田村 博史, 杉野 法広	産科婦人科	脱落膜化に不可欠な糖取り込みを制御するGLUT1は転写因子C/EBP β とWT1によりepigeneticに制御される	日本内分泌学会雑誌・2023/5/8	Original Article

43	友近 忍,鈴木伸明,藤原 康弘,松井 洋人,新藤 芳太郎,徳光 幸生,渡邊 裕策,飯田 通久,武田 茂,井岡 達也,永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学	直腸癌骨盤内再発に対する治療成績と外科治療の予後改善効果の検討	日本大腸肛門病学会雑誌・2023/9	Original Article
44	村上 順一,田中 俊樹,吉峯 宗大,山本 直宗,今村 信宏,濱野 公一	器官病態外科学	低侵襲肺癌手術に必要な不可欠な安全性,根治性に関するロボット支援下手術手技の工夫	日本外科学会定期学術集会抄録集・2023	Original Article
45	中林 容子,淀川 拓馬,秋山 優,田部 勝也,太田 康晴	第三内科	妊娠後期の非腫瘍性下垂体卒中による汎下垂体機能低下症の一例	日本内分泌学会雑誌・2023/10/2	Case report
46	竹内 由利子,森景 則保,大塚 遼,池 創一,溝口 高弘,佐村 誠,原田 剛佑,末廣 晃太郎,濱野 公一	医学教育学	破裂性腹部大動脈瘤に対するEVAR特有の問題点克服を目指した治療戦略	日本外科学会定期学術集会抄録集・2023	Original Article
47	新藤 芳太郎,徳光 幸生,松井 洋人,中島 正夫,木村 祐太,井岡 達也,永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学	腹腔鏡下肝切除術におけるアセトアミノフェン静注の定時投与による術後鎮痛の検討	肝臓・2023/10/25	Original Article
48	西村 達朗,石川 剛,高見 太郎	消化器内科	門脈圧亢進症診療の未来予想図(現状と課題)HVPGの非侵襲的代替マーカーの探索と長期予後の層別化	肝臓・2023/4/30	Others
49	森岡 智之,鈴木 秀典,棟久 槇凜子,村上 瞳,丸花 翔一朗,白源 清貴,山下 敦生,若松 弘也,松本 美志也	麻酔科蘇生科	頸胸椎手術後の髄液漏により急性硬膜外血腫を生じた1例	日本神経麻酔集中治療学会プログラム・抄録集・2023/4	Case report
50	西田 周泰,今城 靖明,鈴木 秀典,船場 真裕,Goel Vijay.K.,坂井 孝司	リハビリテーション部	頸椎後彎症に対する2椎間椎弓切除,椎弓形成,後方除圧固定,前方除圧固定術の力学的特徴	Journal of Spine Research・2024/4	Original Article
51	西田 周泰,今城 靖明,鈴木 秀典,船場 真裕,Goel Vijay.K.,坂井 孝司	リハビリテーション部	頸椎軟部組織損傷による頸椎不安定性への影響	Journal of Spine Research・2023/3	Original Article
52	船場 真裕,今城 靖明,鈴木 秀典,西田 周泰,坂井 孝司	整形外科	頸椎変性すべり症に対する椎弓形成術の成績不良因子は術後後彎である	Journal of Spine Research・2023/4	Original Article

計 52件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	☒ 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	☒ 有・無
・ 手順書の主な内容 目的・適用範囲について、委員会の役割・責務について、委員会の業務について等 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針、（旧：人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針）に則った各項目を整備し、手順書を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	☒ 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	☒ 有・無
・ 規定の主な内容 委員会の設置について、審議事項について、組織について等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年10回
・ 研修の主な内容 人医学系研究の倫理指針・臨床研究法について、申請手続きについて、IRB審査について、人医学系研究に係る利益相反について 等	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

山口大学医学部附属病院では各診療科長の統括管理の下に専門研修を行っており、本院を基幹施設とし、山口県内の各医療圏の中核病院を主な連携施設として専門研修施設群を形成し、基本領域専門医からサブスペシャリティ専門医まで取得できるように体系的な専門研修プログラムを策定している。

また、大学病院や地域中核病院での数多くの症例経験を通じ、各診療領域における実践的かつ高度な専門的診療能力（知識及び技能）の育成を図っている。

さらに、本院では専門研修を行いつつ山口大学大学院医学系研究科に進学して学位を取得することが可能となっており、今後の医療の発展を支えるリサーチマインドを有する臨床医の養成も推進している。

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	55人
-------------	-----

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
高見 太郎	第一内科	科長	25年	内科
佐野 元昭	第二内科	科長	33年	内科
太田 康晴	第三内科	科長	30年	内科
中森 雅之	脳神経内科	科長	26年	内科
松永 和人	呼吸器・感染症内科	科長	33年	内科
長谷川 俊史	小児科	科長	33年	小児科
下村 裕	皮膚科	科長	25年	皮膚科
中川 伸	精神科神経科	科長	34年	精神科
濱野 公一	第一外科	科長	38年	外科
永野 浩昭	第二外科	科長	38年	外科
坂井 孝司	整形外科	科長	30年	整形外科
杉野 法広	産科婦人科	科長	39年	産婦人科
木村 和博	眼科	科長	29年	眼科
菅原 一真	耳鼻咽喉科	副科長	27年	耳鼻咽喉科
白石 晃司	泌尿器科	科長	29年	泌尿器科
石原 秀行	脳神経外科	科長	32年	脳神経外科
伊東 克能	放射線科	科長	36年	放射線科
田中 秀和	放射線治療科	科長	18年	放射線科
松本 美志也	麻酔科蘇生科	科長	39年	麻酔科
池田 栄二	病理形態学	科長	38年	病理
山崎 隆弘	検査部	科長	37年	臨床検査
鶴田 良介	先進救急医療センター	センター長	33年	救急科
油形 公則	整形外科	准教授	28年	リハビリテーション科
黒川 典枝	総合診療部	部長	39年	総合診療
高須 啓之	形成外科	科長	18年	形成外科
三島 克章	歯科口腔外科	科長	34年	歯科口腔外科

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容／研修の期間・実施回数／研修の参加人数

<院内> 【検査部】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
新採用者研修・オリエンテーション	2023 年 4 月 3 日	5
LIS 講習会	2023 年 6 月 21-22 日	44
検査部・輸血部・病理診断科 ISO15189 講習会	2024 年 2 月 21 日	36

<院外>

学会・研修会名	開催日	人数
Wako Web セミナー	2023 年 4 月 17 日	3
微生物検査セミナー' EIKEN 'in中四国	2023 年 4 月 22 日	2
尿検査フォーラム	2023 年 4 月 29 日	2
Clostridioides difficile 感染症関連ガイドラインの解説	2023 年 5 月 15 日	4
シスメックスヘモスタシスセミナーLIVE～基礎教育～	2023 年 5 月 18 日	2
第 1 回徳島心エコー症例会	2023 年 5 月 25 日	4
徳臨技 第 1 回心電図判読セミナー	2023 年 5 月 31 日	5
FUJIFILM Presents Web Seminar「教えて先生！腹部エコーの ABCD」	2023 年 6 月 3 日	2
一般検査セミナー栄研 in 中四国	2023 年 6 月 3 日	3
教えて先生！腹部エコーの ABCD	2023 年 6 月 3 日	2
第 10 回徳島うずしおカンファレンス	2023 年 6 月 4 日	2
Hematology Web Seminar	2023 年 6 月 6 日	3
第 24 回検査血液 Zoom 同好会	2023 年 6 月 8 日	5
第 2 回徳島心エコー症例会	2023 年 6 月 8 日	2
輸血細胞治療部門研修会	2023 年 6 月 18 日	4
徳臨技 第 2 回心電図判読セミナー	2023 年 6 月 21 日	6
山口県臨床検査技師会 臨床生理(神経生理)部門研修会	2023 年 7 月 2 日	3
2023 年度中国地区 BM ユーザー会	2023 年 7 月 8 日	6
PH web カンファレンス～エコーで診る高血圧症～	2023 年 7 月 8 日	4
日本血液同好会(第 424 回)	2023 年 7 月 10 日	2
検査技師が導く診療支援フォーラム	2023 年 7 月 12 日	8
山口県 PCNSL/WM・LPL 講演会	2023 年 7 月 13 日	2
第 3 回徳島心エコー症例会	2023 年 7 月 13 日	3
Newly MM Round Table Discussion in 山口	2023 年 7 月 14 日	2
徳臨技 第 3 回心電図判読セミナー	2023 年 7 月 19 日	6
第 1 回山口県臨床検査技師会宇部支部研修会	2023 年 7 月 21 日	5
第 6 回山口臨床血液例会	2023 年 7 月 21 日	3
山口県臨床検査技師会臨床一般部門研修会	2023 年 7 月 23 日	4
第 24 回日本検査血液学会学術集会	2023 年 7 月 29 日	3
令和 5 年全ゲノム解析に関する人材育成事業 入門編	2023 年 8 月 1 日	5

令和 5 年全ゲノム解析に関する人材育成事業 応用編	2023 年 8 月 1 日	5
第 3 回 Fan Fun Aplio in 中四国	2023 年 8 月 5 日	3
第 3 回微生物検査技術伝承セミナー	2023 年 8 月 5 日	6
消化管エコー研究会セミナー	2023 年 8 月 6 日	3
第 5 回 KYOKUTO Cell Culture セミナー	2023 年 8 月 8 日	3
第 25 回検査血液 Zoom 同好会	2023 年 8 月 10 日	3
第 4 回徳島心エコー症例会	2023 年 8 月 10 日	3
徳臨技 第 4 回心電図判読セミナー	2023 年 8 月 16 日	6
第 3 回臓臓 US エキスパート養成セミナー PNUTS	2023 年 8 月 18 日	3
AmoyDx 肺癌マルチプレックス遺伝子 PCR パネル Web セミナー	2023 年 8 月 24 日	4
シスメックス凝固セミナーin 山口	2023 年 9 月 2 日	6
シスメックスユリナリスセミナー2023 vol.1	2023 年 9 月 2 日	3
山口脳腫瘍カンファレンス	2023 年 9 月 8 日	4
アークレイセミナー臨床検査 2023	2023 年 9 月 9 日	2
超音波基礎 WEB セミナー	2023 年 9 月 9 日	2
第 26 回検査血液 Zoom 同好会	2023 年 9 月 14 日	3
第 5 回徳島心エコー症例会	2023 年 9 月 14 日	3
医療訴訟事例から見た感染対策 Web セミナー	2023 年 9 月 18 日	6
徳臨技 第 5 回心電図判読セミナー	2023 年 9 月 20 日	5
直接抗グロブリン試験の基礎知識	2023 年 9 月 23 日	2
第 6 回微生物検査技術伝承セミナー	2023 年 9 月 26 日	6
GenMine TOP の特徴とその活用法	2023 年 9 月 27 日	4
山口県臨床検査技師会臨床血液部門研修会	2023 年 10 月 1 日	6
シスメックス Lab マネジメントセミナー ISO15189(第4版)でどうなるの? Part1	2023 年 10 月 11 日	5
第 6 回徳島心エコー症例会	2023 年 10 月 12 日	4
宇部支部第 2 回研修会 CKD	2023 年 10 月 13 日	2
山口県臨床検査技師会宇部支部会 Web 研修会	2023 年 10 月 13 日	3
第 15 回九州臨床感染症セミナー	2023 年 10 月 14 日	2
山口県臨床検査技師会臨床検査総合部門 Web 研修会	2023 年 10 月 14 日	2
令和 5 年度臨床生理部門(超音波)検査部門研修会	2023 年 10 月 15 日	2
徳臨技 第 6 回心電図判読セミナー	2023 年 10 月 18 日	6
2023 年度 第 1 回ロシユ遺伝子セミナー	2023 年 10 月 20 日	6
消化管エコー研究会 2023	2023 年 10 月 22 日	3
第 30 回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム	2023 年 10 月 26 日	2
第 10 回 POT セミナー研修会	2023 年 10 月 28 日	3
中四国支部研修会「臨床微生物部門研修会」	2023 年 10 月 29 日	5
山口大学看護部ミニレクチャー	2023 年 10 月 30 日	3
第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会	2023 年 11 月 4 日	2
生物化学分析部門研修会	2023 年 11 月 7 日	5
SOS/VOD WEB Seminar in 中四国	2023 年 11 月 9 日	4
第 27 回検査血液 Zoom 同好会	2023 年 11 月 9 日	4
第 7 回徳島心エコー症例会	2023 年 11 月 9 日	4
第三回セラビジョン Web セミナー	2023 年 11 月 11 日	5
山口県臨床検査技師会生物化学分析部門 WEB 研修会	2023 年 11 月 11 日	4
シスメックスユリナリスセミナー2023 Vol.2	2023 年 11 月 12 日	2
山口県 DLBCL UPDATE	2023 年 11 月 13 日	2
徳臨技 第 7 回心電図判読セミナー	2023 年 11 月 15 日	5
日本血液同好会(第 426 回)	2023 年 11 月 15 日	3

HIV Virtual Seminar in 山口	2023 年 11 月 17 日	5
造血幹細胞移植推進地域拠点病院ベーシック Web セミナー	2023 年 11 月 18 日	6
ファブリー病 web セミナー	2023 年 11 月 20 日	2
シスメックスヘモスタシスセミナーLIVE～循環器内科領域～	2023 年 11 月 21 日	6
第 45 回 PCR 感染症検査研究会	2023 年 11 月 24 日	3
山口血液疾患フォーラム	2023 年 11 月 24 日	5
腎泌尿器検査研究会 Web セミナー11/28	2023 年 11 月 28 日	2
第 2 回 T-cell Lymphoma Forum	2023 年 11 月 28 日	5
三重臨技第 4 回臨床生理部門神経生理分野勉強会 (NCS、賦活脳波)	2023 年 11 月 28 日	4
SOS メディカルスタッフ Web セミナー～チームで挑む造血細胞移植～	2023 年 11 月 30 日	2
第 60 回日本臨床神経生理学会技術講習会	2023 年 11 月 30 日	2
抗真菌薬適正使用における β -D-グルカン測定 の活用	2023 年 12 月 1 日	6
シスメックス血小板凝集能セミナー2023in 札幌	2023 年 12 月 2 日	4
令和 5 年度日臨技中四国支部染色体遺伝子検査部門 web 研修会	2023 年 12 月 2 日	4
ファブリー病エリアフォーラム in 山口	2023 年 12 月 6 日	2
SOS 多職種連携セミナー	2023 年 12 月 7 日	3
第 8 回心エコー症例検討会	2023 年 12 月 14 日	2
第27回近畿耐性菌研究会 特別講演会 Web セミナー	2023 年 12 月 15 日	3
シスメックスヘマトロジーセミナー2023 in TOKYO	2023 年 12 月 16 日	4
第 17 回全国国立大学臨床検査技師会中国四国地区研修会	2023 年 12 月 16 日	17
第 34 回山口血液疾患研究会	2023 年 12 月 18 日	3
第 8 回徳島心エコー症例検討会	2023 年 12 月 20 日	2
徳臨技 第 8 回心電図判読セミナー	2023 年 12 月 20 日	5
関東化学株式会社 オンラインセミナー	2023 年 12 月 21 日	6
令和 5 年全ゲノム解析に関する人材育成事業 実践編	2023 年 12 月 23 日	2
Clinical Webinar 呼吸器感染症＜百日咳＞	2023 年 12 月 25 日	4
第 9 回微生物検査技術伝承セミナー	2023 年 12 月 26 日	5
第9回徳島心エコー症例検討会	2024 年 1 月 11 日	3
島根ファブリー病セミナー	2024 年 1 月 15 日	3
徳臨技 第 9 回心電図判読セミナー	2024 年 1 月 17 日	5
PGPV スクリーニングフロー がん遺伝子パネル編	2024 年 1 月 18 日	4
山口県臨床検査技師会臨床微生物部門 Web 研修会	2024 年 1 月 21 日	5
薬剤耐性菌(AMR)対策オンライン講座	2024 年 1 月 25 日	6
第 17 回香川灯の会-かがわ血液形態カンファレンス-	2024 年 1 月 27 日	2
第 4 回血液形態カンファレンス～リンパ球に対するアプローチを考えよう～	2024 年 1 月 27 日	5
第 6 回山陽心血管ミーティング ここに気づけば視野が広がる-エキスパートの視点-	2024 年 1 月 27 日	2
サノフィ TTP カンファレンス	2024 年 1 月 31 日	3
山臨技生物化学分析部門研修会	2024 年 2 月 3 日	4
令和 5 年度 結核臨床研修会	2024 年 2 月 4 日	5
山口県臨床検査技師会臨床血液一般合同研修会	2024 年 2 月 4 日	5
Hematology Seminar Live(Sysmex)	2024 年 2 月 6 日	2
微生物検査 Virtual Meeting	2024 年 2 月 6 日	5
第 10 回徳島心エコー症例検討会	2024 年 2 月 8 日	3
下肢動脈エコーのスクリーニングと精査？RP 時間を理解し運用する？	2024 年 2 月 9 日	2
Candida auris の菌学と感染症、その検査	2024 年 2 月 10 日	4
CSL ベーリング血友病 B Web 講演会	2024 年 2 月 10 日	2
埼玉県臨床検査技師会 神経伝導検査 web ハンズオン研修会	2024 年 2 月 13 日	3
生理検査部門システムフォーラム ～データ保存の先 システム活用への展望～	2024 年 2 月 13 日	2

30分でわかる。PCNSL ～診断から治療まで～	2024年2月15日	2
あの学術に聞く いつもの院内勉強会	2024年2月16日	2
スマートジーン H.pylori.Gの有用性と運用事例	2024年2月17日	4
第20回合同地方会	2024年2月17日	3
宇部支部研修会	2024年2月18日	3
洗浄と消毒の基礎を見直そう	2024年2月18日	4
第3回宇部支部研修会 消毒について	2024年2月18日	2
徳臨技 第10回心電図判読セミナー	2024年2月21日	4
第3回 WEB STUDY 2023FY～ 生化学の初歩から応用まで ～	2024年2月22日	5
岡山県臨床検査技師会 一般部門実技講習会	2024年2月23日	2
山口県臨床検査技師会 臨床生理(神経生理)部門研修会	2024年2月23日	6
山口県臨床検査技師会 染色体・遺伝子検査部門研修会	2024年2月25日	5
積水セミナー『間質性肺炎の診断と治療について』	2024年2月29日	2
GLL/WM 講演会 in 山口	2024年3月1日	2
Diagnostic Stewardship:DS 実践のビットフオール	2024年3月1日	6
Wako web セミナー『S2,3PSA%保険収載と臨床応用』(オンデマンド配信)	2024年3月1日	2
Wako web セミナー『肝臓がんを小さく見つける』(オンデマンド配信)	2024年3月1日	3
オブチューンとキートルーダを併用した1症例	2024年3月1日	3
第4回膵臓USエキスパート養成セミナー	2024年3月1日	4
第11回全国てんかんセンター協議会総会 徳島大会 2024	2024年3月2日	3
第3回 MUST	2024年3月2日	4
シスメックスヘモスタシスセミナー2023 in TOKYO 凝固線溶分子マーカーの最新トレンド	2024年3月4日	2
PCRを利用した遺伝子クローニング	2024年3月7日	3
第22回日本検査血液学会冬季セミナー	2024年3月8日	2
がんゲノム医療の基礎知識を中心に	2024年3月12日	4
WEB 第12回瀬戸内血液研修会	2024年3月17日	2
第30回検査血液 Zoom 同好会	2024年3月21日	3
肝細胞癌 Symposium STRiDE レジメンによるシングルブライミング	2024年3月22日	2

【薬剤部】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
新人教育研修(病院薬剤師の役割、薬剤部の構成、オリエンテーション)	2023/4/3	3
新人教育研修(薬剤部紹介)	2023/4/3	3
新人教育研修(講義:調剤)	2023/4/4、5、6、7	3
新人教育研修(講義:注射調剤)	2023/4/10、11、12、13	3
新人教育研修(講義:医療安全)	2023/4/18	3
新人教育研修(講義:情報セキュリティ)	2023/4/14	3

新人教育研修(講義:薬務)	2023/4/17	3
新人教育研修(講義:麻薬・薬品管理)	2023/6/27	3
新人教育研修(講義:治験)	2023/6/28	3
新人教育研修(講義:DI)	2023/6/29	3
新人教育研修(講義:製剤)	2023/6/30	3
薬物治療勉強会(免疫疾患)	2023/6/8	18
薬物治療勉強会(呼吸器疾患)	2023/8/10	13
薬物治療勉強会(腎・泌尿器疾患)	2023/9/14	15
薬物治療勉強会(消化器疾患)	2023/10/12	14
薬物治療勉強会(産婦人科疾患)	2023/11/9	13
薬物治療勉強会(血液・造血器疾患)	2023/12/14	13
薬物治療勉強会(骨・関節疾患)	2024/1/11	11

【放射線部】

研 修 名	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
第 79 回日本放射線技術学会総会学術大会	2023/4/13~16	2
第 3 回山口脳血管内治療研究会	2023/4/17	10
第 12 回九州 CT 研究会	2023/5/13	1
キャノン CT アカデミー Lesson 1 「VolumeEC を使いこなそう」「撮影条件を考えよう」	2023/5/18	10
第 14 回 静岡 CT 研究会	2023/5/20	1
山口県診療放射線技師会 第 79 回総会・学術大会	2023/5/21	10
第 26 回中四国 MR ユーザーセミナー	2023/5/27	3
8th Enhanced CT Imaging Seminar	2023/5/27	2
第 11 回 コミカミノルタ Web セミナー 「一般撮影における再撮影の取組み」	2023/5/29	8
医用画像情報学会 令和 5 年度年次（第 196 回）大会	2023/6/3	1
第 154 回放射線治療かたろう会	2023/6/10	1
第 44 回ひろしま乳房画像研究会	2023/6/11	2
第 17 回 山口 CT UPDATE seminar	2023/6/17	24
ゲルベジヤパン Web セミナー	2023/6/21	5
第 3 回 ViPS-Vitrea Perfusion Seminar-	2023/6/21	2
第 28 回ももたろう CT イメージングセミナー	2023/6/22	2
エーザイ造影剤ウェビナー説明会	2023/6/29	6

第 17 回 Cutting Edge Radiology in Yamaguchi	2023/6/30	31
第 24 回日本放射線技術学会中四国夏季学術大会	2023/7/2	18
第 19 回山口 IVR 懇話会	2023/7/8	3
第 35 回 多摩医用デジタル研究会	2023/7/13	2
山口県放射線治療セミナー	2023/7/14	9
造影剤ウェビナー説明会 ヨード・ガドリウム造影剤の急性副作用とその対策	2023/7/18	28
第 31 回徳島県放射線治療研究会	2023/7/22	2
山口県診療放射線技師会 夏季講習会 2023 年度	2023/7/23	5
腹部 CT 画像診断の基本と専門医からのアドバンス	2023/7/26	8
LENVIMA-TC Web Seminar	2023/7/26	24
第 26 回 CT サミット	2023/7/29	1
オンラインセミナー「心臓 CT 再考」 第一回冠動脈 CT	2023/8/16	2
Global Standard CT Symposium 2023	2023/8/19	2
肝細胞癌 TACE 技術セミナー	2023/8/25	1
第 61 回山口 MR 撮像技術研究会	2023/8/26	7
第 3 回 DDR 技術セミナー	2023/8/31	1
第 19 回山口乳腺画像研究会	2023/9/2	5
脳卒中後てんかん Web セミナー	2023/9/8	1
第 43 回 山口県放射線治療研究会	2023/9/9	7
NET Web Seminar 2023	2023/9/11	2
第 18 回 Cutting Edge Radiology in Yamaguchi	2023/9/11	10
腫瘍就学的治療の画像診断における MRI 診断の役割	2023/9/13	6
アミロイド PET WEB 説明会 Series 1	2023/9/15	2
第 155 回放射線治療かたろう会	2023/9/23	6
第 39 回日本診療放射線技師学術大会	2023/9/29~10/1	1
FUJIFILMMEDICALSEMINAR2023 エクセレントカンファレンス	2023/9/23	6
WEB 説明会 転移性前立腺癌診療における画像検査の役割	2023/10/4	4
NET Expert Web Conference in 山口	2023/10/17	4
Eisai Dementia Live Seminar ARIA の撮像および読影のポイント	2023/10/18	5
第 22 回 熊本核医学技術研究会	2023/10/20	4
第 3 回 CT motion seminar	2023/10/21	1
GE HealthCare-Molecular Imaging-Webinar	2023/10/24	2
心筋血流 SPECT 画像解析検討会	2023/10/25	1
日本放射線技術学会 第 51 回秋季学術大会	2023/10/27~29	2
第 2 回山口県放射線治療セミナー	2023/10/27	6
LEQEMBI Web Seminar-Safety-	2023/11/6	1
第 36 回ひろしま核医学技術検討会	2023/11/8	2
WEB 版 IN VIVO 講習会 データ収集について	2023/11/8	1
第 62 回 CT テクノロジーWeb 勉強会	2023/11/9	5
第 19 回中四国放射線医療技術フォーラム	2023/11/18~19	37
胸部読影支援オンラインセミナー第 5 弾 肺がん検診画像の読影と経過観察～胸部 X 線および低線量 CT における読影支援システムの有効利用～	2023/11/21	1
バイエル画像診断 WEB カンファレンス	2023/11/21	10
Eisai Dementia Live Seminar ARIA において処方医が知っておくべきこと・ARIA をどのように読み解くか	2023/11/22	5

ゲルベジャパン CTweb セミナー	2023/11/22	2
NET Web Seminar 2023	2023/11/24	3
山口県診療放射線技師会 秋季講習会 2023 年度	2023/12/3	6
第 6 回山口核医学学術講演会	2023/12/4	5
画論 31th The Best Image	2023/12/7	1
心臓画像診断におけるアプローチ	2023/12/7	1
第 22 回 CT テクノロジーフォーラム	2023/12/9	3
第 29 回 New Horizon for Neurosciences	2023/12/9	2
第 7 回 MR 医療安全セミナー	2023/12/9	6
第 19 回 Cutting Edge Radiology in Yamaguchi	2023/12/14	26
第 156 回放射線治療かたろう会	2023/12/23	2
放射線部 職員研修	2024/1/7	42
Eisai Dementia Live Seminar LEQEMBI Web Seminar	2024/1/12	5
姉妹研究会 6th Cyber MRI basic	2024/1/18	1
第 38 回 山口県核医学技術検討会	2024/1/26	5
第 2 3 回山口 Magnetom 研究会	2024/1/27	6
第 2 回コニカミノルタ AI セミナー	2024/2/1	1
第 2 回山口大学研究推進体セミナー	2024/2/2	4
2024 年 Ai 冬季症例検討会	2024/2/3	1
令和 5 年度全国国立技師会 学術サミット	2024/2/3	5
第 3 回 山口維新 CT Conference	2024/2/10	19
第 22 回九州放射線治療システム研究会	2024/2/10	3
第 49 回ニュータウンカンファレンス	2024/2/17	1
第 23 回九州乳腺画像研究会	2024/2/23	3
第 4 回 DRR 技術セミナー	2024/2/29	1
第 7 回かがわ核医学技術勉強会	2024/3/2	1
第 6 2 回山口 MR 撮像技術研究会	2024/3/2	7
山口県診療放射線技師会 春季講習会 2023 年度	2024/3/3	7
第 36 回 多摩医用デジタル研究会	2024/3/7	2
第 20 回 Cutting Edge Radiology in Yamaguchi	2024/3/7	9
第 30 回 ももたろう CT イメージングセミナー	2024/3/9	2
第 44 回山口県放射線治療研究会	2024/3/9	4
山口県技師会 2023 年度 乳がん部会講習会	2024/3/10	4
核医学の都市伝説 総集編	2024/3/12	1
令和 5 年度宇部小野田地域講習会	2024/3/15	6
LEQEMBI Web Seminar レケンビの安全性プロファイルと対応方法 ～ARIA を中心に～	2024/3/19	1
第 8 回 CT Colonography Webinar	2024/3/21	2
バイエルオンラインセミナー	2024/3/29	6

【看護部／対象：新人】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数	
		新人	既卒
新採用者研修・オリエンテーション	2023/4/3、4、5	93	12
技術演習① 感染対策	2023/4/5	93	10

電子カルテシステム	2023/4/6、7、10	93	10
静脈注射 知識編Ⅰ、「静脈注射の基礎知識」	2023/4/12	93	12
褥瘡予防ケア	2023/4/13	93	12
技術演習② 体位変換・移送・移乗	2023/4/13	93	6
技術演習③ 輸液管理	2023/4/15	93	6
技術演習④ 輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理	2023/4/15	93	6
新人サポート研修 コミュニケーションⅠ	2023/4/15	93	4
医療安全に関する研修Ⅰ リスクマネジメントマニュアルを知ろう	2023/4/18	93	12
内服薬・貼付剤・外用薬の知識	2023/4/18	93	12
静脈注射知識編Ⅱ～Ⅳ(2022年度版) 既卒用	2023/4/19	—	10
防火訓練	2022/4/24	92	12
看護記録Ⅰ ～看護記録の基礎～	2023/4/26	93	4
メンタルヘルスⅠ	2023/4/26	93	4
技術演習⑤ 静脈血採血	2023/5/13	93	3
技術演習⑥ 皮下注射・筋肉内注射	2023/5/13	93	4
新人サポート研修 社会人基礎力	2023/5/13	93	1
静脈注射 知識編Ⅱ①「インスリンの知識と管理」	2023/5/19	93	1
技術演習⑦ 導尿・膀胱留置カテーテルの挿入と管理・浣腸	2023/5/27	93	2
技術演習⑧ 吸引・吸入	2023/5/27	93	2
メンタルヘルスⅡ	2023/5/27	93	3
医材センター研修(講義)	2023/5/29	93	12
酸素吸入療法	2023/5/30	93	4
医材センター研修(見学)	2023/6/1、6、7	93	12
2か月のふりかえり	2023/6/9	92	10
技術演習⑨ 経管栄養管理	2023/6/17	92	2
技術演習⑩ 多重課題シミュレーションⅠ	2023/6/17	92	3
技術演習⑪ 心電図モニター・12誘導	2023/6/17	92	4
技術演習⑫ 静脈留置針の挿入	2023/7/5	91	1
技術演習⑬ フィジカルアセスメントⅠ	2023/7/19	88	5
看護必要度研修(新人編)	2023/7/25	91	8
技術演習⑫ 急変対応を学ぶ	2023/8/2	91	6
看護補助者との協働促進のための研修	2023/8/28 9/26	86	8
静脈注射 知識編Ⅱ②「麻薬・ハイリスク薬等の知識と管理」	2023/9/8、12	90	2
静脈注射 知識編Ⅲ、「抗がん剤の知識と管理」	2023/10/4、10	89	3
静脈注射 知識編Ⅳ、「輸血の知識と管理」	2023/10/4、10	89	5
6か月目のふりかえり	2023/10/13	87	0
看護に必要な倫理	2023/10/31、11/10	88	3
看取りの看護 ～逝去時の看護手順～	2023/12/4	86	3
フォローアップ研修	2023/12/7、8	81	2
医療安全に関する研修Ⅱ リスク感性を高めよう:KYT	2024/1/17	87	3
人工呼吸器の基礎知識	2024/2/9	82	3
1年の振り返り	2024/3/15	82	0

【看護部／対象：ラダーⅡを目指す人】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
静脈注射 知識編Ⅴ(インシデント CV ポート)	2023/6/7	72

フィジカルアセスメントⅡ ～変化を予測した情報収集のためのイグザミネーション～	2023/7/21、8/25	60
看護記録Ⅱ ～看護過程と看護記録～	2023/9/22	59
チームワークで問題解決！	2024/1/26、1/30	60
フィジカルアセスメントⅢ ～状態に気づくためのアセスメント～	2023/8/8、8/31	59
倫理的であたかな対応ってどうしたらいいの？	2023/12/22、2024/1/10(講師の都合により次年度開催予定)	30
リフレクション	2024/2/14、21	54

【看護部／対象：ラダーⅢを目指す人】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
プリセプター研修②	2023/6/13、29	48(23.25)
プリセプター研修③	2024/2/29 3/6	25+23
プリセプター研修①(2024 年度)	2024/3/12、22	19+21
ケアにおけるリーダーシップ	2023/9/7	18
ケアに気づきたい！摂食嚥下障害と口腔ケア	2023/7/6	20
クリティカル院内研修	2024/1/16～1/19	3
クリティカル院内研修	2024/1/23～1/26	3
クリティカル院内研修	2024/1/30～2/2	4
クリティカル院内研修	2024/2/6～2/9	2

【看護部／対象：ラダーⅣを目指す人】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
看護記録Ⅲ ～看護実践のまとめ方～	2023/6/21	25
臨床の知 ～ナラティブで看護を振り返る～	2023/12/1	17
これからの入退院支援（退院に向けたカンファレンスの実際）	2023/10/24	23
倫理的問題は何なのか？ 言葉にしてみよう①	2023/7/21～8/4(ナースングスキル)	35
倫理的問題は何なのか？ 言葉にしてみよう②	2023/8/21	23
看護研究 講義①	2023/6/1～6/15(ナースングスキル)	46
看護研究 演習①テーマで悩んでいる人	2023/9/1	13
看護研究 講義② クリティーク	2023/9/4～9/19(ナースングスキル)	28
看護研究 講義③ 研究方法（講義）	2023/9/19～10/3(ナースングスキル)	28
看護研究 講義④ 研究計画書の作成方法 倫理審査	2023/10/2～10/17(ナースングスキル)	27
看護研究 演習② 研究計画書作成に悩んでいる人	2023/10/27	12
看護研究 講義⑤ 抄録の作り方 スライド作成 プレゼンテーション	2023/11/9～11/23(ナースングスキル)	46

【看護部／対象：ラダーⅣ・Ⅴを目指す人】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
現場で活かせるファシリテーションスキル	2023/6/30	22
フィジカルアセスメントⅣ	2023/11/2	16
意思決定支援を支援するスキル	2024/1/23	24

【看護部／対象：ラダーⅤを目指す人】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
人を育てるとは	2023/12/6	18
院内看護管理入門① 組織管理論Ⅰ	2023/5/17	29
院内看護管理入門② ヘルスケアシステム論Ⅰ 社会保障制度概論、保健医療福祉サービス提供体制	2023/8/16	29
院内看護管理入門③ ヘルスケアシステム論Ⅰ ヘルスケアサービスにおける看護の役割	2023/9/20	29
院内看護管理入門④ 【公開講座】人材管理Ⅰ 看護チームマネージメント	2023/10/18	42+18
院内看護管理入門⑤ 人材管理Ⅰ 労務管理の基礎知識	2023/11/15	29
院内看護管理入門⑥ 【公開講座】人材管理Ⅰ 人材育成の基礎知識	2023/6/21	26+19
院内看護管理入門⑦ 質管理Ⅰ	2023/12/20	28
院内看護管理入門⑧ 資源管理Ⅰ	2023/7/19	28

【看護部／対象：全看護師】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
2023 年度 看護部の取り組み	2023/5/2～5/16(ナースングスキル)	全看護職員
2023 年度 看護部の取り組み 中間の振り返り	2023/11/2～11/16(ナースングスキル)	全看護職員
緩和ケアとアドバンス・ケア・プランニング	2023/5/31	119
外来で始める在宅療養支援 前編	2023/9/19 9/28	18 (12,6)
外来で始める在宅療養支援 後編	2023/9/19 9/28	19 (9,10)
認知症を持つ人の理解と関わり方	2023/10/26	71
災害に関する研修会	2023/12/8	58+Moodle
『今の時代に必要とされる看護記録とは?』講演会	2024/2/5	全看護職員
報告会	2024/2/7	109
第 96 回 院内看護研究発表会・活動報告会	2024/2/17	182
院内 ICLS 研修	2023/5/9	8
院内 ICLS 研修	2023/6/8	10
院内 ICLS 研修	2023/7/4	9
院内 ICLS 研修	2023/8/10	6
院内 ICLS 研修	2023/9/12	10
院内 ICLS 研修	2023/10/19	8
院内 ICLS 研修	2023/11/4	10
院内 ICLS 研修	2023/12/14	9
院内 ICLS 研修	2024/1/9	10
院内 ICLS 研修	2024/2/8	9
院内 ICLS 研修	2024/3/12	7
CV ポート技術演習	2023/8/9 12/22	22 (9,13)
CV ポート指導看護師技術演習	2023/8/18、2024/1/26	0
アドバンストナースミニレクチャー①	2023/7/31 →9/11	101
アドバンストナースミニレクチャー②	2023/10/30	81(他職種 10)
アドバンストナースミニレクチャー③	2023/11/30	92
アドバンストナースミニレクチャー④	2024/2/5	中止
看護補助者との協働促進のための研修	2023/12/1,6, 26,27	全看護職員

これからの入退院支援	2023/8/3	59
がん薬物療法実践看護師教育プログラムレベルⅡ(全4回)	2023/4～(ナースングスキル)	29
がん薬物療法実践看護師教育プログラムレベルⅢ(全7回)	2023/4～(ナースングスキル)	4

【看護部／対象：臨床経験年数5年以上】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
院内認定看護師(クリティカル)コース		4
院内認定看護師(がん看護)コース		3

【看護部／対象：管理者】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
看護管理研修(看護師長、副看護師長) 労務管理	2023/8～9月	92
看護師長研修	2023/6/3	29
副看護師長研修	2023/9/24	60
部署発表会 目標に対する活動報告	2024/3/8	91+4
昇任管理者研修・オリエンテーション	2024/3/4,5	4+11

【看護部／対象：その他】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
看護必要度研修	2023/8/29 9/6、15、10/11	全看護職員
褥瘡予防と褥瘡発生後のケア	2023/5/19、25 6/5、19 7/11 8/10	全看護職員

【看護部／対象：看護補助者】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
補助者研修① 医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解 看護補助者の役割	2023/4/21	97・3
補助者研修② 感染防止対策 ～PPEと環境整備について学ぶ～	2023/5/31,6/14	100・1
補助者研修③ 医療安全	2023/8/4	95
技術演習(助手)	2023/11/1	80
補助者研修④ 一次救命処置	2023/12/20	109
振り返り	2024/2/7,2/14	106

② 業務の管理に関する研修の実施状況(任意)

・研修の主な内容／研修の期間・実施回数／研修の参加人数

【放射線部】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
第 94 回乳房撮影ガイドライン精度管理研修会	2023/9/16-17	2
令和 5 年度 原子力災害医療中核人材研修(広島大学 第 3 回)	2024/2/26	2
第 54 回 全国国立大学法人放射線診療部門会議	2023/5/12	1

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容／研修の期間・実施回数／研修の参加人数

【放射線部】

研 修 名	研修の期間・実施回数(開催日)	参加人数
第 43 回 大塚ゼミ 放射線技術の向上を目的とした各種講演等	2024/1/6-7	65

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 松永 和人	
管理担当者氏名	総務課長 藤田 泰子 医事課長 小林 真穂	

		保 管 場 所		管 理 方 法
診療に関する諸記録	項 規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医学部総務課	紙媒体のカルテは入院、外来別に1患者1ファイル方式として、保存整理している。 2009年9月までに作成されたカルテは紙媒体で、それ以降に作成されたカルテは電子媒体で保管している。 診療録の病院外持ち出しは、原則禁止としている。
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部 各診療科	
		手術記録	診療録センター 医療情報部	
		看護記録	診療録センター 医療情報部	
		検査所見記録	診療録センター 医療情報部	
		エックス線写真	各診療科 放射線部	
		紹介状	診療録センター 医療情報部	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療録センター 医療情報部	
病院の管理及び運営に関する諸記録	三 項 規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	医学部総務課	左記保管場所において、紙媒体・電子データ等で保管管理している。
		高度の医療の提供の実績	医学部医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部総務課 医学部経営企画課	
		高度の医療の研修の実績	医学部総務課	
		閲覧実績	医学部医事課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医学部医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医学部医事課 薬剤部	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質・安全管理部	左記保管場所において、紙媒体・電子データ等で保管管理している。
	事項 規則第一條の十一第一項に掲げる	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	左記保管場所において、紙媒体・電子データ等で保管管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医学部総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医学部総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医学部管理運営課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理センター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理センター	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	左記保管場所において、紙媒体・電子データ等で保管管理している。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	
		医療安全管理部門の設置状況	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	
		監査委員会の設置状況	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	
		職員研修の実施状況	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	
		管理者が有する権限に関する状況	
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 松永 和人
閲覧担当者氏名	総務課長 藤田 泰子 医事課長 小林 真穂
閲覧の求めに応じる場所	医学部本館2階 事務室 外来診療棟1階 医事課患者相談室
閲覧の手続の概要 ・閲覧申込 閲覧申込書を総務課総務係に提出する ・提出先 病院長 ・閲覧方法 指定した日時・場所で行う ・返納方法 当日返納とし、総務課総務係に返納する	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数		延	0	件
閲 覧 者 別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： ・ 本院における安全管理に関する基本的考え方について ・ 本院における安全管理体制の確保及び推進のため、副病院長（医療の質・安全担当）を委員長とした「医療の質・安全管理委員会」を設置すると安全管理委員会の任務を推進し、組織横断的に安全管理を担う「医療の質・安全管理部」を設置することについて ・ 医薬品、医療機器及び診療用放射線の安全使用のための責任者として「医薬品安全管理責任者」、「医療機器安全管理責任者」及び「医療放射線安全管理責任者」を置くとともに、医療安全管理委員会、医療の質・安全管理部、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者を統括する「医療安全管理責任者」を置き、病院全体で医療安全に取り組むことについて ・ 全職員を対象として、医療安全に関する研修会を年2回以上開催することについて ・ 院内全死亡事例の報告並びに医療の質・安全管理部及び医療の質・安全管理委員会において全事例の検討を行うことについて ・ 院内で発生したインシデントの報告を受けて、医療の質・安全管理部及び医療の質・安全管理委員会において、内容の調査・分析及び再発防止策の検討を行い、インシデントの概要並びに再発防止策については、リスクマネジャー連絡会議等を通じて院内に啓発を行うことについて ・ 医療事故等発生時の対応に関することについて ・ 患者等が当該指針を閲覧できることについて ・ 患者相談窓口を常設し、患者等からの苦情や相談に応じるための組織や体制等を整備していることについて ・ 高難度新規医療技術を用いた医療の提供について	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・ 設置の有無（ 有・無 ） ・ 開催状況：年 12 回 ・ 活動の主な内容： 1. 毎月1回定期的に、緊急時はその都度開催し下記について審議する。 （1）医療の質管理及び改善に関すること。 （2）医療事故防止に関すること。 （3）医療訴訟の対策に関すること。	

(4) 院内死亡事例に関すること。

2. 医療の質・安全管理部（医療安全管理部門）と連携し、医療の質・安全管理部の企画・立案する病院全体の医療の安全管理について、具体的な実践を指導監督する。

3. 医療事故防止のための安全管理に関する教育・研修会等を開催する。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 2 回

・ 研修の内容（すべて）：

研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数
2023/9/19	全職員	「本院の医療安全体制および外部監査結果報告」 「医薬品安全管理について」 「MR 検査室への金属持ち込みによる危険性」 「医療機器の安全管理について」 「当院におけるインシデント報告について～患者誤認を中心として～」	医師 GRM 主任放射線技師 臨床工学技士 薬剤師 GRM	1879 人 (e ラーニング、DVD 貸し出しを含む)
2023/12/15	全職員	「心理的安全性のある病院 ～学習と高いパフォーマンスを 求める職場づくり～」	学外講師	2251 人 (対面講習、e ラーニング、DVD 貸し出しを含む)

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（☒有・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

（インシデント・アクシデント報告の分析・検討）

- ・ 報告されてくる内容別に「薬剤」、「ドレーン・チューブ」など 9 の項目に分け、その項目をさらに種類別に分け集計を行っている。また、別に職種別の報告件数や患者への影響レベル毎の件数を集計している。

- ・ オカレンス報告を増やすため、報告様式を簡素化し、手術時のサインアウトにオカレンスの有無についてのチェック項目を追加した。

- ・ 報告の種類別に内容を分析し、報告や検討等を要する事項については、個別に事例分析を行い発生した要因や原因、また再発防止策を提示して医療の質・安全管理委員会、医療の質・安全管理部会議において審議され決定している。リスクマネジャー連絡会議においては決定事項を各部署のリスクマネジャーへ周知するが、再発防止策などの意見を求める場合は、リスクマネジャーを中心に意見を募り医療の質・安全管理部にて検討している。

（院内死亡事例報告の検証）

- ・診療科は医療の質・安全管理部へ速やかに死亡事例の報告をし、医療の質・安全管理部でも毎日死亡事例を抽出し、速やかにスクリーニングを行う。情報収集した各種データを基に、医療の質・安全管理部会議及び医療の質・安全管理委員会で検証を行い、必要な情報を院内にフィードバックしている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☒ 有 ・ 無																		
・ 指針の主な内容： (1) 感染対策に関する基本的考え方 (2) 院内感染対策のための組織に関する基本的事項 (3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 (4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 (5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 (6) 患者等に対する該当指針の閲覧に関する基本方針 (7) 本病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 (8) 感染対策の地域連携に関する基本方針																			
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回																		
・ 活動の主な内容： (1) 感染予防に関すること (2) 感染予防対策の指導に関すること (3) 感染予防の教育に関すること (4) 職員の職業感染対策に関すること (5) 病院内の感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること (6) 感染制御部の管理及び運営に関すること (7) その他感染対策に関すること																			
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2回																		
・ 研修の内容（すべて）： <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修内容</th> <th>研修日</th> <th>対象者</th> <th>講師</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当院における感染対策について ～基本にかえろう標準予防策～ 当院における抗菌薬適正使用支援活動について</td> <td>Web 受講のみ 2023/6/1～ 2023/6/16 DVD 講習 2023/6/1～ 2023/6/16</td> <td>全職員</td> <td>感染制御部 枝國 信貴 崎山 達矢</td> <td>2,552 人</td> </tr> <tr> <td>最近の感染症の話題</td> <td>2023/12/11 Web 講習 2023/12/18～ 2024/1/12 DVD 講習 2023/12/18～ 2024/1/12</td> <td>全職員</td> <td>広島大学病院 感染制御部長 大毛 宏喜</td> <td>2,452 人</td> </tr> </tbody> </table>					研修内容	研修日	対象者	講師	参加人数	当院における感染対策について ～基本にかえろう標準予防策～ 当院における抗菌薬適正使用支援活動について	Web 受講のみ 2023/6/1～ 2023/6/16 DVD 講習 2023/6/1～ 2023/6/16	全職員	感染制御部 枝國 信貴 崎山 達矢	2,552 人	最近の感染症の話題	2023/12/11 Web 講習 2023/12/18～ 2024/1/12 DVD 講習 2023/12/18～ 2024/1/12	全職員	広島大学病院 感染制御部長 大毛 宏喜	2,452 人
研修内容	研修日	対象者	講師	参加人数															
当院における感染対策について ～基本にかえろう標準予防策～ 当院における抗菌薬適正使用支援活動について	Web 受講のみ 2023/6/1～ 2023/6/16 DVD 講習 2023/6/1～ 2023/6/16	全職員	感染制御部 枝國 信貴 崎山 達矢	2,552 人															
最近の感染症の話題	2023/12/11 Web 講習 2023/12/18～ 2024/1/12 DVD 講習 2023/12/18～ 2024/1/12	全職員	広島大学病院 感染制御部長 大毛 宏喜	2,452 人															
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況																			
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☒ 有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 収集した各データや問題点を院内感染対策専門部会で検討している。 ・ 対策を検討し必要な項目は、感染対策委員会へ提案し、協議している。																			

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況				有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況				年 34 回
・ 研修の主な内容：				
研修日	対象者	研修内容	講師	参加者
2023.4.1	医療職員新採用者、研修医	薬剤部の概要について	副薬剤部長	150 名
2023.4.19	新採用看護師	内服薬・貼付薬・外用薬の知識	薬剤主査	105 名
2023.4.12	新採用看護師	静脈注射に用いる薬剤の知識と管理	薬剤主査	105 名
2022.5.17	A8 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	14 名
2022.5.22 ~ 2022.6.17	全職員	当院における抗菌薬適正使用支援(AS)について	AST 専従薬剤師	2404 名
2023.6.15	A6 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	27 名
2023.6.20	外来診療科 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	薬剤主査	38 名
2023.6.23	A12 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	16 名
2023.6.24	山口県看護協会	山口県内の助産師、保健師	薬剤主査	82 名
2023.6.26	A10 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	17 名
2023.6.26	A10 看護師	心不全と薬について	病棟担当薬剤師	17 名
2023.7.4	A1 看護師	麻薬・覚醒剤原料講習会、注射薬調製時に注意すべき点について	病棟担当薬剤師	30 名
2023.7.13	B5 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	21 名
2023.7.13	B5 看護師	2外科で行う化学療法の主なレジメンについて	病棟担当薬剤師	21 名
2023.7.14	B6 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	18 名
2023.7.14	手術部 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	61 名
2023.7.20	B4 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	11 名
2023.7.18	検査診療部・看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	薬剤主査	9 名
2023.8.9	B7 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	15 名
2023.9.2	院内外医療従事者	感染対策臨床セミナー(消毒について)	AST 専従薬剤師	13 名
2023.9.5	感染対策リンクスタッフ	消毒について(感染対策推進部会)	AST 専従薬剤師	58 名
2023.9.8,12	新採用看護師	薬の安全管理～ハイリスク薬の取扱い～	副薬剤部長	94 名
2023.9.8,12	新採用看護師	麻薬・ハイリスク薬等の知識と管理	薬剤主査	94 名
2023.9.19-10.13	全職員	医薬品安全管理について	薬剤師 GRM	1824 名
2023.10.18	A6,NICU,GCU 看護師	麻薬・覚醒剤原料の取扱いについて	病棟担当薬剤師	17 名
2023.10.18	地域薬剤師	令和 5 年度がん化学療法と地域連携に係る研修会	がん化学療法担当薬剤師	35 名
2023.10.19	研修医	医薬品使用時の安全管理	薬剤主査	10 名
2023.11.17	A9 看護師	麻薬及び覚醒剤原料の取扱い	病棟担当薬剤師	16 名

2023.11.17	A9 看護師	ラジカット内容懸濁液 2.1%	病棟担当薬剤師	16 名
2023.11.20	A3 看護師	麻薬及び覚醒剤原料の取扱い	病棟担当薬剤師	50 名
2023.12.21	B9 看護師	麻薬及び覚醒剤原料の取扱い	病棟担当薬剤師	17 名
2024.3.5	感染対策リンクスタッフ	抗菌薬適正使用について Part2	AST 専従薬剤師	28 名
2024.3.14	A7 看護師	麻薬及び覚醒剤原料の取扱い	病棟担当薬剤師	18 名
2024.3.14	リハビリテーション部	循環器系の薬剤について	病棟担当薬剤師	20 名

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

- ・ 手順書の作成 (☒ 有 ・ 無)
- ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：
 - 1) 医薬品の採用に関する事項
 - 2) 医薬品の購入・管理に関する事項（購入～薬剤部内の管理）
 - 3) 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項
 - 4) 患者に対する服薬指導に関する事項
 - 5) 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い
 - 6) 病棟、中央診療部門、外来における医薬品の管理
 - 7) 他施設（病院、薬局等）との連携に関する事項
 - 8) 輸血・輸血用血液製剤の取扱い
 - 9) 薬剤投与のための機器使用
 - 10) 放射線医薬品の管理
 - 11) 臨床検査薬の管理
 - 12) 造影剤の管理、使用
 - 13) 院内製剤の取扱いについて
 - 14) 未承認新規医薬品の使用及び医薬品医療機器等の適応外使用について
 - 15) 当該手順書の遵守状況の確認

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☒ 有 ・ 無)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：

1%メチレンブルー：食道、胃、腸管の腫瘍性病変の核、細胞質を染色し、超拡大内視鏡観察を行うことで腫瘍の良悪性、深達度の診断を行う目的。
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - (1) 医薬品を適正に使用するため、医薬品の安全性情報と患者情報の収集を行う。
 - (2) 経過観察が必要な薬剤の投与にあたっては、投与中・投与後の経過観察を継続して行う。
 - (3) 薬剤部より月 1 回「DI EXPRESS」を発行している。
 - (4) 処方オーダーなど病院情報システムを利用するものに関する情報については、医療情報部と連携し、病院情報端末機トップページでお知らせする。
 - (5) 心電図検査・心機能検査が求められる医薬品について、リスクに応じて処方時にアラートを表示し、注意喚起している。
 - (6) 転倒転落防止のための「不眠時指示の睡眠導入剤使用フローチャート」を作成し、医療の質・安全管理部ホームページから確認できるようにしている。
 - (7) 投与間隔が必要な医薬品処方時にアラートを表示し、注意喚起している。
 - (8) 特定薬剤の血中濃度モニタリングを実施する。
 - (9) リスクマネージャー連絡会議などを通じて事故防止対策を周知している。
 - (10) 調剤時には、原則バーコードリーダー照合により、処方薬の正しい交付を確認している。
 - (11) 抗がん剤調製は必要に応じて重量鑑査システムを使用し、誤調製を防止している。
 - (12) 内服・外用調剤監査時に必要に応じて画像鑑査システムを使用し誤調剤を防止している

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況				有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況				年 64 回
・ 研修の主な内容： (1) 新しい医療機器導入時の研修				
機器名	機種名	導入診療科 (部)名	開催日	受講者 (人)
検体搬送システム	シーモスヘルスケア AtellicaSII, Dimension, Aptio	検査部	令和5年4月3日 ～ 令和5年4月11日	50
臨床用ポリグラフ	日本光電工業(株)製 RMC-5000	第二内科 心臓カテーテル室	令和5年4月4日 令和5年4月6日	6
人工呼吸器	日本光電工業(株)製 NKV-330	第二内科 心臓カテーテル室	令和5年4月6日	24
多人数用透析液供給装置	日機装(株)製 DAB-Si・DAB-50Si 他	検査・診療部	令和5年4月10日	23
全自動溶解装置	日機装(株)製 DAD-70Si	検査・診療部	令和5年4月10日	23
透析用水作成装置	日機装(株)製 DAO-Si_1200-R	検査・診療部	令和5年4月10日	23
多用途透析用監視装置	日機装(株)製 DCS-200Si D-FAS/AV 連結 式	検査・診療部	令和5年4月10日	23
透析通信システム	Future Net Web+Si 他	検査・診療部	令和5年4月10日	23
MALDI バイオタイパー	ブルーカーンジャパン(株)sirius one	検査部	令和5年4月10日 令和5年4月11日	7
全自動化学発光免疫測定 装置	アボット・ラボラトリーズ社製 Alinity	検査部	令和5年4月17日 ～ 令和5年4月21日	22
全自動血液凝固測定装置	システックス(株)製 CN-6000	検査部	令和5年4月20日 ～ 令和5年4月21日	16
生化学自動分析装置	日本電子(株)製 JCA-BM6070G	検査部	令和5年4月25日 ～ 令和5年4月28日	22
RO 純水製造装置	東洋紡エンジニアリング(株)製	検査部	令和5年4月27日 ～ 令和5年4月28日	29
自動採血管準備システム	(株)テクノメディカ製	検査部	令和5年4月27日 ～ 令和5年5月2日	50
冷凍手術器	ボストン・サイエンティフィックジャパン (株)Visual-ICE	第二内科 心臓カテーテル室	令和5年5月8日	11

P3検査室 (ハイバード対策安全キャビネット含む)	日科ミコン(株)製	検査部	令和5年5月9日	7
プレート式下肢加重計	アニマ(株)製 BW-6000	リハビリテーション部	令和5年5月11日	30
送水・吸引用ポンプシステム	エンドマット SELECT	手術部	令和5年5月12日	7
植込み型補助人工心臓	HeartMate3	ME機器管理センター	令和5年5月15日	14
3Dマッピングシステム	EnSiteX	第二内科 心臓カテーテル室	令和5年5月22日	11
眼科用レーザー光凝固装置	Navilas577s	眼科	令和5年5月16日	5
遺伝子検査装置	Cobas5800	検査部	令和5年6月7日	6
ポータブルスリットランプ	SL-19	眼科	令和5年7月11日	18
半自動除細動器	ZOLL AED Pro	ME機器管理センター	令和5年7月20日	11
手術台システム Table Package EU	TS7000dV	手術部	令和5年7月20日 ～ 令和5年7月28日	74
内視鏡システム	カールストルツ社 内視鏡システム	手術部	令和5年9月21日	7
除細動装置	PHILIPS 社	看護部 (B-4)	令和5年10月12日	20
アンギオ CPET	運動負荷用仰臥位エルゴ メーター	第二内科	令和5年11月24日	26
リットマンステススコープ	クラシックⅢ	血液浄化療法センター	令和5年11月21日	10
カード用遠心機	ID-Centrifuge L	輸血部	令和5年11月21日 ～ 令和6年1月25日	19
VASCADE MVP		第二内科	令和5年11月27日	11
OPTRELL		第二内科	令和5年12月4日	9
CARTO3 Version7.5		第二内科	令和5年12月4日	9

トリロジー-EVO	02	ME 機器管理センター	令和 6 年 1 月 11 日	18
サーボ U	Servo-n	ME 機器管理センター	令和 6 年 1 月 15 日	18
汎用人工呼吸器	SERV0-n	NICU	令和 6 年 1 月 16 日 ～ 令和 6 年 1 月 17 日	25
ACT 測定装置	CA-300	ME 機器管理センター	令和 6 年 1 月 29 日	9
汎用人工呼吸器 スマートベンチレータ	Vivio3	B-6	令和 6 年 2 月 1 日	12
高周波中隔穿刺システム	RFS-50	ME 機器管理センター	令和 6 年 2 月 5 日	4

(2) 特定機能病院指定の定期研修

機器名	開催日	内容	受講者数 (人)
人工心肺装置	Moodle	2023 年度 人工心肺装置研修	144
補助循環装置	Moodle	2023 年度 補助循環研修	205
	Moodle	2023 年度 PCPS 研修	213
	Moodle	2023 年度 補助循環トラブルシューティング研修	163
	Moodle	2023 年度 補助循環トラブルシューティング研修	163
人工呼吸器	Moodle	2023 年度 人工呼吸器 1 研修	386
	Moodle	2023 年度 人工呼吸器 2 研修	348
	Moodle	2023 年度 ポータブル人工呼吸器研修	230
	Moodle	2023 年度 NPPV・NHF 研修	248
	Moodle	2023 年度 人工呼吸器トラブルシューティング研修	245
	対面	7/20・9/20 の対面研修	24
	対面	7/20・9/20 の対面研修	24
血液浄化装置	Moodle	2023 年度 血液浄化療法研修	163
	Moodle	2023 年度 アフエレーシス研修	120
	Moodle	2023 年度 CHDF 研修	145
	Moodle	2023 年度 血液浄化療法トラブルシューティング	113
除細動装置	Moodle	2023 年度 除細動器 1 研修	549
	Moodle	2023 年度 除細動器 2 研修	507
	Moodle	2023 年度 除細動器トラブルシューティング研修	432
	対面	9/20 の対面研修	11
閉鎖式保育器	Moodle	2023 年度 閉鎖式保育器研修	120
	Moodle	2023 年度 閉鎖式保育器トラブルシューティング研修	123
	対面	6/21 の対面研修	33

(3) 放射線部研修

修名称	研修内容	開催日	受講者 (人)
放射線部研修 (対象: 医師及び放射線技師)	診療用高エネルギー放射線発生装置	令和 5 年 4 月 24 日	18
	診療用高エネルギー放射線発生装置	令和 5 年 9 月 13 日	19
	診療用放射線照射装置 (RALS 等)	令和 5 年 12 月 12 日	20
	診療用放射線照射装置 (RALS 等)	令和 6 年 2 月 19 日	20

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

- ・ 医療機器に係る計画の策定 (☒ ・ 無)
- ・ 機器ごとの保守点検の主な内容：

人工呼吸器、補助循環装置、血液浄化装置の一部を定期点検(外注)
除細動装置、血液浄化装置の一部、輸液ポンプ、シリンジポンプ、経腸栄養ポンプ、
低圧持続吸引器、間歇的空気圧迫装置を定期点検(院内)

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☒ ・ 無)
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：

なし

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

PMDA、日本医療評価機構より情報収集・院内メールにて周知
不定期に「MEだより」を発行

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☒ 有 ・ 無
・ 責任者の資格（医師・歯科医師） ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者に「医療の質・安全担当」の副病院長（医師）をもって充て、医療安全管理部門、医療の質・安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者及び医療放射線安全管理責任者を統括している。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☒ 有（ 5名） ・ 無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 収集した医薬品情報を3分類（最重要、重要、その他）し、使用患者、処方医等を調査し医薬品安全性情報等を院内メール、院内通知書、DI Express で病院全職員へ周知すると共に、「最重要」、「重要」の項目については各病棟担当薬剤師が追加説明等を行う体制を構築している。周知確認は、重要度にあわせて署名者を指定（全職員又は関連職員）するなどし、薬剤部 DI センターで関連書類を管理している。昨年度は「最重要」、「重要」に該当する事例はなかった。 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 未承認等医薬品を使用する診療科は新規医療審査室の審査を受ける。医薬品の適応外・禁忌使用については、病棟薬剤業務及び薬剤部セントラル業務を通じて把握を行い、医師が「医薬品の適応外等使用に係る申請書」により新規医療審査室に申請する。申請書をもとにリスク分類（A、B、C）し、リスク A は未承認新規及び適応外等医薬品評価委員会での審査・事後検証・患者への文書説明と同意取得、リスク B は必要に応じて評価委員会での審査・事後検証を実施し、患者への文書説明と同意取得、リスク C は患者への口頭説明と同意取得（診療録に記録）を原則とすることとしている。また、医薬品の禁忌使用の把握については、電子カルテおよび薬剤部の調剤支援システム（禁忌チェックシステム）を利用している。 ・ 担当者の指名の有無（☒ 有 ・ 無） ・ 担当者の所属・職種： （所属：医療の質・安全管理部 ， 職種：薬剤師 ） （所属：薬剤部 DI センター ， 職種：薬剤師 ）	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☒ ・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（☒・無） ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：侵襲性の高い診療行為（手術等）について、インフォームド・コンセントの記録の確認を行い、インフォームド・コンセント専門部会、診療録センター運営委員会で報告し、是正を勧告している。また、多職種で実施している診療録等の質的点検及び院内ケアプロセス調査においても、記載内容等について改善指導を行っている。	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	☒ ・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 1）診療録等の量的点検 全退院患者を対象に診療情報管理士による量的点検を実施し、診療録センター運営委員会、QIセンター会議で報告するとともに、点検結果から課題を把握し、質的点検を行うことで、診療記録の改善に繋げている。 2）診療録等の質的点検 様々な視点で相互に記録の確認を行うため、多職種（7職種）で質的点検を実施している。診療録センター運営委員会、QIセンター会議で報告するとともに、各診療科へ点検結果のフィードバックを行い、診療録等の適切な記載や質の向上に努めている。また、重要度の高い指摘項目がある診療科については、必要に応じてラウンドを実施するなどし、診療録記載の改善に努めている。 3）多職種による診療録等監査 入院から退院までの一連のプロセスにおいて、患者へのアプローチや適切な記録の有無について多職種の視点で確認し、問題点等を指摘し改善することで、診療録等の適切な記載や医療の質向上へ繋げる『院内ケアプロセス調査』を実施している。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	☒ ・無
・所属職員：専従（5）名、専任（1）名、兼任（16）名	

うち医師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（４）名

うち薬剤師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（１）名

うち看護師：専従（３）名、専任（０）名、兼任（４）名

（注）報告書を提出する年度の１０月１日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- (1) 医療の質・安全管理委員会の議事録作成及び庶務に関すること。
- (2) 医療の質・安全管理委員会から提案された業務の実施に関すること。
- (3) 医療事故及びインシデント報告の分析並びに再発防止策の検討及び提言に関すること。
- (4) 医療事故防止策の実施状況の必要に応じた調査及び防止策の見直し・立案に関すること。
- (5) 院内死亡事例の検証に関すること。
- (6) 医療の安全管理に係る企画・立案及び広報並びに啓蒙・啓発に関すること。
- (7) リスクマネジャーとの連絡調整に関すること。
- (8) 医療の安全管理に係る教育・研修に関すること。
- (9) 他の委員会に対する勧告案の作成に関すること。
- (10) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認等に関すること。
- (11) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認等に関すること。
- (12) 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認等に関すること。
- (13) 医療の質・安全管理部会議に出席し、インシデントや医療事故防止に関して検討する。
- (14) 各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果を記録すること。
- (15) 医療の質・安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、患者等の相談数及び相談内容、相談後の取扱い、その他の医療安全管理者の活動実績を記録すること。
- (16) 医療の質・安全管理委員会の構成員及び必要に応じて各部門の医療安全管理の担当者等と、医療安全対策に係る取組の評価等を行うカンファレンスを週１回程度開催すること。
- (17) その他医療安全対策の推進に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（３件）、及び許可件数（３件）

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ ・無 ）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒ ・無 ）
- ・活動の主な内容：

申請内容の確認、及び当該医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ、当該医療技術の提供の適否等を決定し、申請を行った診療科長等に対してその結果を通知する。また、当該医療技術が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、モニタリングし、その内容を病院長、医療の質・安全管理委員会等に対して報告する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ☒ ・無 ）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ ☒ ・無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（1件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ ・無 ）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒ ・無 ）
- ・活動の主な内容：

申請内容の確認、及び当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等について意見を求め、その意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等を決定し、申請を行った診療科長等に対してその結果を通知する。また、当該未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、モニタリングし、その内容を病院長、医療の質・安全管理委員会等に対して報告する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ☒ ・無 ）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ ☒ ・無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 160 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 24 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

毎月1回の定例会議において、医療安全管理部門から前々月分の院内死亡事例の検証結果について

ての報告を受けて、医療事故調査制度への報告の判断等について検討を行う。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（☒（病院名：千葉大学）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（☒（病院名：三重大学）・無）
- ・技術的助言の実施状況

（助言 1）

院内死亡症例の把握は、医事情報から得ることを基本としている。最近、当該診療科に退院時サマリーの写しを1週間以内に提出するよう求めるようになったとのことであるが、死亡の事実のみならず、死亡時の状況も含めて、当該診療科から管理者・安全管理部門に速やかに報告される仕組みの構築が早急に求められる。

（対応 1）

医療の質・安全管理部で死亡時スクリーニングシートを作成し、各病棟へ配布を行った。各病棟の医師は院内死亡症例があった際は死亡時スクリーニングシートで死亡時の状況や死亡の予期の有無等を記入し、医療の質・安全管理部への提出を求めることとした。

（助言 2）

医療安全部門への人的配置について、専従医師1名、専従看護師3名、専従薬剤師1名に加え、専任医師、兼任の看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、事務職員が適切に配置されている。しかし、臨床工学技士が兼任配置もされていない状況については検討が求められる。

（対応 2）

令和6年度より、医療の質・安全管理部門に兼任の臨床工学技士を配置した。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

院内に患者相談窓口を設置しており、患者相談対応マニュアルに準じ、医療安全・医療事故に関して医療の質・安全管理部で対応している。また、患者相談窓口で受けた相談のうち、医療安全・医療事故に関する相談は医療の質・安全管理部に報告され、内容によっては、医療の質・安全管理委員会に報告し、対応する。緊急を要する場合は、即時病院長に報告する。

また、週に一度の患者サポート対応カンファレンスに参加し、情報を共有している。

⑫ 職員研修の実施状況

・ 研修の実施状況

研修日	対象者	研修内容	講師	参加人数
2023/4/3	新人看護師	「新採用者オリエンテーション： 病院でのリスクマネジメント」	看護師 GRM	105 人
2023/6/23	新規（中途）採用医師	「医薬品に関わるルール」 「当院の医療安全体制とその実際」	医師 GRM 薬剤師 GRM 等学内講師	90 人（e ラーニング、VTR 講習会、DVD 貸し出しを含む）
2023/4/12	新採用看護師	静脈注射知識編Ⅰ 「安全対策と事故防止」	看護師 GRM	105 人
2023/4/12	新採用看護師	静脈注射知識編Ⅰ 「静脈注射に用いる薬剤の基礎知識と管理」	医師 GRM	105 人
2023/4/18	新採用者看護師	医療安全に関する研修Ⅰ 「リスクマネジメントマニュアルを知ろう」	看護師 GRM	105 人
2023/4/18	新採用看護師	内服薬、貼付剤、外用薬知識	看護師 GRM	105 人
2023/6/7	2023 年度採用看護師と希望者	静脈注射知識編Ⅴ 「静脈注射にまつわるインシデント」	看護師 GRM	72 人
2023/7/27	研修医	「インシデントレポートからみた医療安全」	医師 GRM	16 人
2023/8/4	看護補助者、クラーク	看護補助者研修 「医療安全」	看護師 GRM	95 人
2023/9/19	全職員	「本院の医療安全体制および外部監査結果報告」 「医薬品安全管理について」 「MR 検査室への金属持ち込みによる危険性」「医療機器の安全管理について」 「当院におけるインシデント報告について ～患者誤認を中心として～」	医師 GRM 主任放射線技師 臨床工学技士 薬剤師 GRM	1879 人 （e ラーニング、DVD 貸し出しを含む）
2023/12/15	全職員	「心理的安全性のある病院 ～学習と高いパフォーマンスを求める職場づくり～」	学外講師	2251 人 （対面講習、e ラーニング、DVD 貸し出しを含む）

	2024/1/17	新採用看護師	医療安全に関する研修Ⅱ 「リスク感性を高めよう：KYT」	看護師 GRM	90 人	
--	-----------	--------	---------------------------------	---------	------	--

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況
・研修の実施状況 日本医療機能評価機構が実施する「2023 年度 特定機能病院管理者研修」に管理者（2024. 2. 26）、医療安全管理責任者（2024. 1. 9）、医薬品安全管理責任者（2023. 11. 20）、医療機器安全管理責任者（2024. 1. 26）が参加し、医療に係る安全管理のため研修を受講した。

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況
・第三者による評価の受審状況 日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、「医療事故等に適切に対応している（A）」の評価をいただいている。 ・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況 改善内容なし ・評価を踏まえ講じた措置 同上

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
- 基準の主な内容 山口大学医学部附属病院長選考規則において、「(1)臨床研修等修了医師である者、(2)病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者、(3)教育、研究及び診療に必要な資質及び能力を有する者、(4)医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有する者」として規定し、詳細は病院長選考基準に定めることとしている。 - 基準に係る内部規程の公表の有無（☒有・無） - 公表の方法：山口大学ホームページに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				☒ 有・無
- 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（☒有・無） - 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（☒有・無） - 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（☒有・無） - 公表の方法：山口大学ホームページに掲載				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
松野 浩嗣	山口大学理事	○		有・ ☒ 無
田邊 剛	山口大学医学部長			有・ ☒ 無
長谷川 俊史	山口大学医学部附属病院副病院長			有・ ☒ 無
原田 美佐	山口大学医学部附属病院看護部長			有・ ☒ 無
梅本 裕英	前北九州銀行取締役 監査等委員		山口県内の経済事情及び医療等の状況に精通し、経営及び医療について高い識見を有する。	有・ ☒ 無
大本 理恵	山口銀行執行役員 宇部支店長		山口県内の地域事情及び経済事情に精通し、経営について高い識見を有する。	有・ ☒ 無
武田 健	山陽小野田市立山口東京理科大学 学長		宇部・小野田医療圏の医療等の状況に精通し、医療について高い識見を有する。	有・ ☒ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無		☒ 有・無	
・合議体の主要な審議内容 病院の予算及び経営に関する事項，規則の制定及び改廃に関する事項，その他病院の管理運営に関する事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 病棟医長等が出席する病院連絡協議会において周知している。また，会議資料，議事概要を学内ウェブページに掲載し，従業者が閲覧できる環境を設けている。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（☒有・無） ・公表の方法：山口大学ホームページに掲載 ・外部有識者からの意見聴取の有無（有・☒無）			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
田邊 剛		医師	医学部長
高見 太郎		医師	第一内科長
佐野 元昭		医師	第二内科長
太田 康晴		医師	第三内科長
中森 雅之		医師	脳神経内科長
中川 伸		医師	精神科神経科長
長谷川 俊史		医師	小児科長
松永 和人	○	医師	病院長、呼吸器・感染症内科長
濱野 公一		医師	第一外科長
永野 浩昭		医師	第二外科長
坂井 孝司		医師	整形外科長
下村 裕		医師	皮膚科長
高須 啓之		医師	形成外科長
白石 晃司		医師	泌尿器科長
木村 和博		医師	眼科長
伊東 克能		医師	放射線科長
田中 秀和		医師	放射線治療科長
杉野 法広		医師	産科婦人科長
松本 美志也		医師	麻酔科蘇生科長
石原 秀行		医師	脳神経外科長

三島 克章		歯科医師	歯科口腔外科長
山崎 隆弘		医師	検査部長
鶴田 良介		医師	先進救急医療センター長
黒川 典枝		医師	総合診療部長
平野 靖		医師	医療情報部長
高崎 彰久		医師	医療の質・安全管理部長
北原 隆志		薬剤師	薬剤部長
星井 嘉信		医師	病理診断科長
伊藤 浩史		医師	遺伝・ゲノム診療部長
瀬川 誠		医師	漢方診療部
枝國 信貴		医師	感染制御部長
白澤 文吾		医師	医学教育学講座教授 (その他病院長が必要と認めた者)
原田 美佐		看護師	看護部長
足立 正博		事務職員	事務部次長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限
・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（☒有・無） ・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載 ・ 規程の主な内容 病院長が有する人事に関する権限として、山口大学医学部附属病院規則において、診療科長、診療施設の部長等及び企画・管理部門の部長等に関する任命及び解任について規定している。病院長が有する予算執行権限として、国立大学法人山口大学財務会計規則及び国立大学法人山口大学予算単位及び予算責任者取扱要項において、各予算単位に予算責任者を置くこととし、医学部附属病院の予算責任者として医学部附属病院長を規定している。 ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割 副病院長6名を配置し、総務、医療の質と安全、DX推進、防災、医療連携（患者支援）、広報、教育、研究、経営・企画、診療、人事・労務、D&I推進、個人情報管理及び看護・患者サービスに関する事項を分掌している。病院の管理運営等に関し病院全体の立場に立ち企画、立案を行い、病院長に提言する者として病院長補佐3名を配置している。また、病院の経営改善対策に関する事項等、病院運営審議会から委託された事項を審議する代議員会として、病院長、副病院長、病院長補佐、薬剤部長、看護部長及び事務部長を構成員とする病院戦略会議を設置している。 ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況 病院の執行部として、副病院長は病院運営審議会の委員のうちから病院長が指名し、病院運営審議会の議を経て、学長に推薦し任命され、病院長補佐は病院運営審議会において選出することにより管理運営に精通するよう適切な人事を行っている。 研修については、勤務環境改善を考えることを目的とした全国医学部長病院長会議等が主催する「トップマネジメント研修（2023.8.25）」に病院長が、同研修（2023.6.29）に中川副病院長が参加している。また、第5回病院長塾に看護部長が参加している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					☒ ・無
・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容： (1) 医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について管理者等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施する。 (2) 必要に応じ、本院の開設者又は管理者に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明する。 (3) (1)、(2)に掲げる活動について、その結果を公表する。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (☒・無) ・ 委員名簿の公表の有無 (☒・無) ・ 委員の選定理由の公表の有無 (☒・無) ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 (☒・無) ・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
矢賀 健	山陽小野田市民病院	○	医療に係る安全管理に関する専門的知識を有するため	有・ ☒ 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
大田 明登	大田・讃岐法律事務所		法律に関する識見を有するため	有・ ☒ 無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
玉田 英生	UBE 株式会社		医療を受ける者の代表者	有・ ☒ 無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況
・ 体制の整備状況及び活動内容 ・ 専門部署の設置の有無（ ☒ ・ 無 ） ・ 内部規程の整備の有無（ ☒ ・ 無 ） ・ 内部規程の公表の有無（ ☒ ・ 無 ） ・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に
係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況																												
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 学長、理事、副学長、医学部附属病院長及び学外委員により構成する経営協議会において、法人の中期計画・中期目標、年度計画、予算、決算及び業務実績について審議している他、医学部附属病院の経営実績及び経営計画について審議している。 ・ 会議体の実施状況（ 年 7 回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒ ・ 無 ）（ 年 7 回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒ ・ 無 ） ・ 公表の方法：山口大学ホームページに掲載																												
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：経営協議会																												
会議体の委員名簿																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>氏名</th> <th>所属</th> <th>委員長 (○を付す)</th> <th>利害関係</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>谷 澤 幸 生</td> <td>山口大学長</td> <td>○</td> <td>☒ ・ 無</td> </tr> <tr> <td>松 野 浩 嗣</td> <td>山口大学理事・副学長</td> <td></td> <td>☒ ・ 無</td> </tr> <tr> <td>進 士 正 人</td> <td>山口大学理事・副学長</td> <td></td> <td>☒ ・ 無</td> </tr> <tr> <td>上 西 研</td> <td>山口大学理事・副学長</td> <td></td> <td>☒ ・ 無</td> </tr> <tr> <td>葛 崎 偉</td> <td>山口大学特命理事・副学長</td> <td></td> <td>☒ ・ 無</td> </tr> <tr> <td>溝 部 康 雄</td> <td>山口大学理事・副学長</td> <td></td> <td>☒ ・ 無</td> </tr> </tbody> </table>	氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係	谷 澤 幸 生	山口大学長	○	☒ ・ 無	松 野 浩 嗣	山口大学理事・副学長		☒ ・ 無	進 士 正 人	山口大学理事・副学長		☒ ・ 無	上 西 研	山口大学理事・副学長		☒ ・ 無	葛 崎 偉	山口大学特命理事・副学長		☒ ・ 無	溝 部 康 雄	山口大学理事・副学長		☒ ・ 無
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係																									
谷 澤 幸 生	山口大学長	○	☒ ・ 無																									
松 野 浩 嗣	山口大学理事・副学長		☒ ・ 無																									
進 士 正 人	山口大学理事・副学長		☒ ・ 無																									
上 西 研	山口大学理事・副学長		☒ ・ 無																									
葛 崎 偉	山口大学特命理事・副学長		☒ ・ 無																									
溝 部 康 雄	山口大学理事・副学長		☒ ・ 無																									

七 村 守	山口大学理事		有・無
原 山 優 子	山口大学理事		有・無
LOEHR MARC	山口大学副学長		有・無
松 永 和 人	山口大学副学長・医学部附属病院 長		有・無
鍋 山 祥 子	山口大学副学長		有・無
石 井 由 理	山口大学副学長		有・無
佐 藤 晃 一	山口大学副学長		有・無
今 村 孝 子	山口県医師会 副会長 山口県公安委員		有・無
岩 崎 史 哲	株式会社トクヤマ取締役 常務執行役員 研究開発本部長		有・無
岩 田 幸 雄	山口放送株式会社 代表取締役 会長		有・無
川 上 康 男	株式会社長府製作所代表取締役 会長		有・無
木 村 晃 一	大晃ホールディングス（株）代表 取締役社長		有・無
齋 藤 宗 房	山口トヨタ自動車株式会社代表 取締役社長 テレビ山口株式会社代表取締役 社長		有・無
桜 井 博 志	旭酒造株式会社会長		有・無
末 永 久 大	弁護士法人末永法律事務所弁 護士		有・無
平 屋 隆 之	山口県副知事		有・無
丸 山 洋 司	公立学校共済組合理事長		有・無
棕 梨 啓 介	（株）山口フィナンシャル・グル ープ代表取締役 CEO		有・無
山 本 佳世子	日刊工業新聞社論説委員 編集 局科学技術部編集委員		有・無
山 本 謙	UBE 株式会社取締役会長		有・無
吉 武 博 道	学校法人東京家政学院理事 長 筑波大学名誉教授		有・無
田 子 みどり	（株）コスモピア代表取締役		有・無

（注） 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 通報件数（年〇件） ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 周知の方法 ①山口大学ホームページ ②職員ハンドブックに掲載 ③医療安全講習会による周知 ④メールを利用した Web アンケート回答後の解説による周知

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 HP，SNS，広報誌等の広報媒体を通して、情報を発信している。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	☒ 有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 他科とのコンサルテーションを実施している。	